

翻刻資料Ⅱ

生徒委員日誌「1947. 6. 3～1948. 4. 22（2回生記）」

奥村旅人* 須永哲思** 福家崇洋***

【解説】

本資料は、京都人文学園での日々の学生生活について、昼間部二期生たちの手により綴られた学生日誌である。記載内容は、1947年6月3日から1948年4月22日（実際の記述は23日まで）の約1年間に渡る。1946年6月創立の京都人文学園の足跡からみれば、学園創立から二年目にあたる一年間の記録であり、作成者の昼間部二期生にとっては入学して最初に過ごした一年間の記録になる。黒表紙・200頁のノートで、各ページの上部に通し番号（ノンブル）が付されており、基本的には昼間部二期生の生徒委員が日替わりで1日1頁の分量で記入を担当している。

杉本喜代巳氏のご自宅にて保管・所蔵されていた資料であるが、杉本氏は昼間部一期生であり、この日誌の直接の執筆者ではない。『わが青春——京都人文学園の記録』（京都人文学園創立三〇周年記念世話人会編集発行、1976年6月、23頁、右図）を編纂する際に、改めて収集した資料の一つ（「生徒委員日誌（'47年度第1学年）」）にあたると思われる。

現在までに集まったおもな資料

入学案内（各年次）	教科目・講師（各年次）	入学者・卒業生（各年次）
私立学校設立認可申請書類（'46・'5）	授業料・財政記録（各年次）	封鎖預金等設定申請書類（'46・'9）
生徒委員日誌（'47年度第1学年）（'48年度第2学年）	週刊学園新聞「水曜日」'47・'11・25創刊、'48・'12・18No. 40終刊（全号）	週刊自治会機関紙「金曜日」'48・'12・17創刊、'49・'6・24No. 21（全号）
『人文学園新聞』『LA RONDOLLO』『学園ニュース』	『人文ニュース』『のろし』『人文学園』『京都人文学園』	『同窓会機関紙』『民族の旗』
学園誌・文芸誌『環』『塵』『ROSEAU』『人文』	『はぐむものにはこたえん！』	『人文学園のかんたんな年表』（'46・'6／'48・'3）'49・'1学園史委員

①この小冊子では、引用・収録資料に、必ずしも一いち出典を記すことはなかった。談話の聞き書き、生徒の当時のノート・日誌等の記録も多用されている。②人名は、原則として敬称を略し、また、ときによりイニシアルを用いた。③用字、送りがなは、なるべく当用漢字・現代かなづかいによったが、例外もある。

* おくむら たかひと 京都大学大学院教育学研究科

** すなが さとし 京都大学人文科学研究所

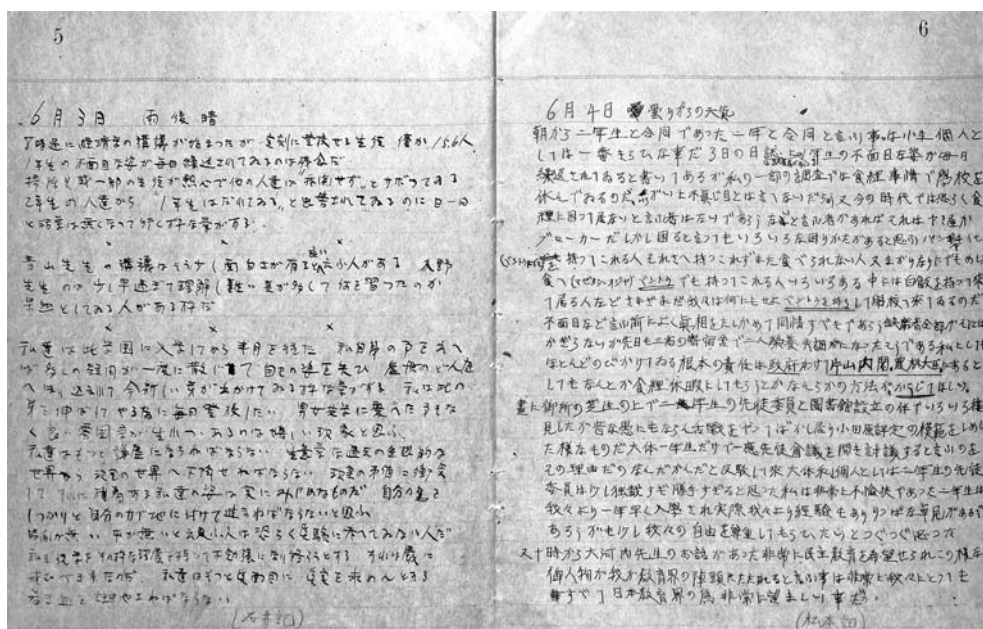
*** ふけ たかひろ 京都大学人文科学研究所

なお、当時収集した資料には、「48年度第2学年」の学生日誌や『民族の旗』（日本共産党人文学園細胞機関紙）も含まれていたようだが、管見の限り、これらはラポール京都にも杉本氏自宅にも保管されていない。

この生徒委員日誌は、授業に関する事柄を中心にしつつ、学園行事・学内自治（出席率低下・試験制度導入をめぐる議論など）に関すること、敗戦直後の京都での学生生活（食糧難、恋愛、学歴など）や時事問題・歴史に関することなど、記述内容は多岐に渡っている。人文学園において、講師たち・生徒たちがどのように「戦後民主主義」を学び体現しようとしていたのか、なぜそれが思うように体現できないのかという自嘲や批判も含めて、その歩みが記録されている。学園新聞『水曜日』（1947年11月26日）・学園自治会機関紙『金曜日』（1948年12月7日）とあわせて、当時の学生たちの声や様子を生き生きと伝えてくれる、貴重な一次史料だといえる。

【凡例】

- ・原則として、旧字体は新字体に改め、歴史的仮名遣いは原文のままとした。
- ・読みやすさを考慮して、適宜、句読点と「・」「ナカグロ」を補った。
- ・汚損等で判読が不可能な部分については「×××」で表した。
- ・判読困難な部分については「〇〇〇」で表した。



1947年6月3日（ノンブルNo.5）・6月4日（ノンブルNo.6）の学生委員日誌面

- ・誤記や書き損じが傍線で抹消されている箇所には、傍線(「⊖⊖⊖」)を付した。ただし、誤記や書き損じが傍線で抹消され、誤記の前後左右に訂正された文字の加筆があり、抹消部分が重要な意味を持つとは考えられない場合には、抹消前の文字は記載せず、訂正後の文字だけを記載した。
 - ・原文に付されているルビについては、通常の上付きルビを付した。
 - ・明らかな誤字・誤記については、本文中で〔 〕に正しい字を記したルビを付した。
 - ・明らかな脱字については、本文中に〔 〕で必要な字を補った。
 - ・個人名に関して、京都人文学園の講師・在学生については、「京都人文学園卒業生名簿 附同窓会規約・講師・在校生」(京都人文学園同窓会、作成は1956年か、「京都勤労者学園所蔵京都人文学園関係資料目録」No89)などを参照し、可能な限り氏名を補った。
- ただし、中傷的な表現と判断できる場合については、例外として氏名を伏せることとした。必ずしも学園関係者でない人名については、上田正昭ほか監修『日本人名大辞典』(講談社、2001年)などを参照の上、注にて一般的な情報を補った。

1〔ノート上欄外に付されている頁数ノンブル、以下、記述内容前の数字も同様〕

世^{スガ}の性を同じ憂ひに友なれば／直ぐに見開く^{マナカヒ}眼界の／真理の星を究めつつ／意気たかぶりて、
意気たかぶりて／苦悩の鞭に励むなり。幸^{サキハ}ひの日を希みつつ友なれば／若人の旨燃ゆるがに
／愛の瞳の輝きは／太陽をこそ、太陽をこそ／大き歩みに^{〔うた〕}謳はなむ／正しきを驕らじ真の友
なれば／ますみの空を微笑の／美し世界よ、肯^{ウベナ}ひに／手に手把りつつ、手に手把りつつ／純
潔^{イノチ}の生命^{〔つく〕}竭すなり／オ、気高き象徴よ 吾等が学園／光充ち満つ 吾等が人文学園

2

世の者皆は混濁の／黄塵濁池に連へ共／いざ諸共に行かんかな／自学の道や修学の克己に強さ
誇らひて／四肢高らかに手そぶけば／比叡の峯に月高かし／(M.I 記.)

欠点と悪質とは蠅の中の／砂粒の如きものである。／我々は此を以って真珠を造らなくてはな
らない。／近景はいかにも細かに観える。汚れて観える。／併しながら遠望はいつも美しい。／
Y. K.

3〔本文白紙〕

4

1947. 6. 3～1948. 4. 22 / (2 回生記)

5

〔1947 年〕6 月 3 日 雨後晴

8 時過に経済学の講義が始まったが定刻に登校せる生徒僅か 15.6 人。／1 年生の不真面目な姿
が毎日繰返されてゐるのは残念だ。／掃除も或る一部の生徒が熱心で他の人達は“我関せず”
とサボつてゐる。／2 年生の人達から“一年生はだれてゐる”と忠告されてゐるのに日一日／
と活気は無くなつて行くような気がする。

———〔改行〕

青山〔秀夫〕先生の講義はもう少し面白さが有ると良い〔と〕云ふ人がある。久野〔収〕先生
のは少し早過ぎて理解し難い点が多くて何を習つたのか杳然としてゐる人がある様だ。

———〔改行〕

私達は此学園に入学してから半月を経た。私自身の事を云へば多くの疑問が一度に散じて自己
の姿を失ひ虚無のどん底へほり込まれ今新しい芽が出かけてゐる様な気がする。／私は此の芽
を伸ばしてやる為毎日登校したい。男女共学に変へたまもなく良い雰囲気が生れつつあるのは
嬉しい現象と思ふ。／私達のもつと謙虚にならねばならない。生意気な過去の空想的な世界か

ら現実の世界へ下降せねばならない。現実の矛盾に衝突してそれに撞着する私達の姿は実にみじめなものだ。自分の足をしっかりと自分の力で地に付けて進まねばならないと思ふ。／時間が無い本が無いと云ふ人は恐らく真験^(剣)に考へてゐない人だ。／私も授業をその様な理屈を持つて不勉強になり終らうとする、それは厳に戒むべき事なのだ。私たちはもつと真面目に真実を求めんとする若き血を燃やさねばならない。／(石井記)

6

6月4日 曇りがちの天気

朝から二年生と合同であつた。二年と合同と言ふ事は小生個人としては一番きらひな事だ。3日の日誌に欠席者が多い1年生の不真面目な姿が毎日繰返されてゐると書いてあるが、私の一部の調査では食糧事情で学校を休んでゐるのだ。いちがいに不真面目^(真面目)とは言へないだろう。／又今の時代では恐らく食糧に困って居ないと言ふ者はないであらう。ないと言ふ者があればそれはヤミ産かブローカーだ。しかし困ると言つてもいろいろな困りかたがあると思ふ。パンやイモ(ペントウトイモ)を持つてこれる人、それさへ持つてこれずまた食べられない人、又まがりなりにでもめしが食へ(マゼメン・オジャ) ペントウでも持つてこれる人、いろいろある。中には白飯を持つて来て居るひとなどさまざまだ。我々は何にもせよペントウを持ちて学校へ来てゐるのだ。／不真面目など言ふ前によく真相をたしかめて同情すべきであらう。欠席者全部がそうとはかぎらないが、先日も三高の寄宿舎で二人栄養失調になつたそうである。私にしてもほとんどのびかけてゐる。根本の責任は政府わけて片山〔哲〕内閣・農林大臣にあるとしても、なんとか食糧休暇にしてもらうとか、なんらかの方法がかうじてほしい。／昼に御所の芝生の上で2年生の生徒委員と図書館設立の件でいろいろ接見したが皆な愚にもならん舌戦をやつてばかり居り小田原評定の模範をしめした様なものだ。大体一年生だけで一応生徒会議を開き討議すると言ふのをその理由だのなんだかんだと反駁して来、大体私個人としては二年生の生徒委員は少し独裁すぎ勝手すぎると思つた。私は非常に不愉快であつた。二年生は我々より一年早く入学され、実際我々より経験もありりつばな卓見があるであらうが、もう少し我々の自由を尊重してもらひたいとつぐつぐ思つた。／又、十時から大河内先生〔大河内一男¹⁾〕のお話があつた。非常に民主教育を希望せられ、此の様な御人物が我が教育界の陣頭にたたれると言ふ事は非常に我々にとつてもすべて日本教育界の為非常に望ましい事だ。／(松本〔耕三〕記)

7

6月5日 木曜日

8:00 東洋史 10:00 日本史 12:45 京大名誉教授 竹田省氏の特別講義 14:00 仏語・独語

当番は一部の人のみが行ってゐる様だが、こんなことは出来るだけ全員が行ふ様に、さう心懸ける様に、委員の者が注意する事、委員が率先する事。／バケツ、ホース等の不足分は至急補ひたい。／時間割に度々変更があるので、学生殊に委員が柔軟性を持つ様にしてほしい。／生徒会議はも〔う〕少し早く開いた方がよかった。心懸け次第で開催出来ぬ事は無かつたと思はれる。／困難な事ではあるが、お互ひに、より正しい事をより迅速に行ふ様に努力しませう。／生徒同志がもっと意見を活発に交流し合ふのがよい様に思ひます。今の状態ではまだまだでせう。此の辺から凡てが動き出す様に思へます。／竹田省先生の講演は商法、特に法人に就てのお話であつた。／(松本〔耕三〕記)

8

6月6日 金曜日 曇

8:00 ヨリ国語 10:00 生徒会議、新村〔猛〕先生ノ講話

毎日の出生率の悪いのには驚かされる。国語は兎角不熱心である様に思〔わ〕れる。又先生にも少し活気が無さ過ぎるのではないでせうか？／生徒会議議題として“生徒出席高揚に関する件”“バッチの問題”等と取り上げ、皆んなの活発な発言あり。思った事を発言して行くのは結構ではあるが、発言する前に、一步踏み出す前に、自己を自覚して見ると云ふ事が肝要ではないでせうか？／新村先生の講話には全員感銘する所ありと思つた。勉強を出来るだけの体力と、意志と、学資とのあるものは、社会に対しても勉強すべき義務があるとおっしゃつた。実に共鳴である。その点を深く理解して居れば欠席も少しは減るのではなからうか？其ノ点を私も嘆かしく思ふ。／本当の意味の男女共学を生み出していきたい。今の所では隔が有る様に思ふ。これも男の方に責任有りと私は主張したい。／私達の盛り上げる力、団結の力、若人の力で持つて、よき学園であり、良き市民を作り上げて行きたい。又、そうある事が之の学園の趣旨でもあり、学園の生命でもある。／(栗山記)

9

6月7日 土曜日 晴

8:00 時ヨリ 数学 二年生吉田〔九洲穂〕さん／10:00 英語 三崎〔三島泰治〕先生
初級 二年生杉本さん〔一期生で杉本姓は、杉本喜代巳と杉本正二の2人〕

数学・英語共に二年生の方が親切に熱心に教へてくださるのがとても嬉しく思ふ。先生方より二年生の方々の方が解り安いのは何故でせうか？私の頭としまして先生のお話しはあまりむづかし過ぎる故でせうか。／入学試験に始めて当学園に参りまして、他の学校に見られぬ真面目な本当の学徒の憤^{〔第〕}悶^{〔初〕}気^{〔第〕}に接した様な心地がし、此の学校こそ私の求めていた学園だとの気持ちがしました。／よくは解らぬ乍らも毎日の登校は一日一日私の眼前が明るくなって行くような

心地が致します。／私の一ついかに思ひますのは、先生方又二年生の方々が自由・自治を云はれて居りますが、今一つお言葉と実際の行動と一致しない無じゆん^(予願)を感じられる所が御座います。が、先生よく云はれます様に、先生としても当学園創立日浅く、全て研究中との事故当然化も解りませんが。／私達一年生も先生方二年の方々に積極的に進で行き度ひと存じます。／(家村〔光枝〕記)

12〔ノンブル 10-11 は欠〕

6月9日 月曜日

授業時間割通り

今日は、朝から曇り勝ちで有った。時折雲間から放たれる太陽光線は、此の広い地上に生存する万物に平和と限りない幸を与へる。／吾が学園は現在仮校舎で実にさゝやか其のもので有る。然し何か遠い遠い過去を批判し、遠い遠い未来を予測し、吾々生徒に平和な良き夢を結ばせる偉大なる威力を持って、京都の一隅に根強く座して居る。毎朝吾々が此の校舎の前に立つと、笑顔でお早うと心地よく迎へて呉れ、一日の楽しい学校生活が展開されるので有る。愛着心益々旺盛!!／然し惜しいかな、一步教場に足を踏み入れば吾人は等しく欠席者の多い事を痛感する。いったい何が斯くせしめたか。其れには客観的^(客)状件も有るであろうが、吾々は自身の手で力で住み良い学び良い学園樹立こそ、打解^(開)出来得る最大にして唯一なるものあろう。俺は出席してゐるから罪はない、と威張ってはならぬ。餘り虫が良過るよ。／独り欠席者当人の罪丈けでない事を思へ。吾々の力で吾々自身の手で住み良い学び良い空気を充満させ、登校せずには居られないと言った風に成る様、努力が必要と思ふ。／自由の学園に学ばんとする若人が集ひ、出席率 100% 有っても不思議はない、純な希望に満ちる紅の地流れる青年時代を最も有意義に吾が学園にて送らうではないか。／石原〔真人〕記

13

6月10日 火曜日

午前中の授業授業時間割通り 午後学生会議／1時半ヨリ英語 エス語

相変らず出席者は少ない。教場が狭いだらうと叫んだ者が有ったが、現在の出席者丈け収容するには広すぎる位ひだ。全生徒揃ひ席を並べ、人権尊重・自由平和と現在の社会を批判し、理想を語り真理を探究し具現化に努めたら、何れ丈当学園は光明を放つ事だろう。／社会は余りにも濁り切つてゐる。悪人のみの生存で有る。善人らしい顔付の徒輩も、皆仮面に身を覆ふ悪人で有る。此れが現在社会の实在だ。吾々は然し悪人に成り度くない。せめて吾が学園内に於て善人の社会を造らう。必ず造れる。そして外部へ普及だ。／学び良い住み良いクラスにし、全員善人の生活を展開して行く様に、吾人独り独りが努めて欲しい。／本日午後、全生徒会議

有り。議題は図書○〔「館」を消して「室」か〕設置可否と題してで有った。^{〔附〕} 開議一時間、余の長きに亘りたるも尚決せず。驚くなかれ。閉会と来ては、開いた口もふさがらない。議案の不徹底と会議すると言ふ心の未熟とが、斯る哀れな悲劇を演じたであらう。議長始め、大いに研究を要すると思ふ。／石原〔真人〕記

16〔ノンブル 14-15 は欠〕

6月11日 水 曇

午前中の授業は大二時限の法律の恒藤〔武二〕先生が30分ほど遅れられたが時間割通り。

午後は三島〔泰治〕先生も菅〔泰男〕先生もお休みで両先生の英語は休講。

今日も相変わらず出席不審であつた。一部、宿舍とかの特別事情のある人をのぞいて。今、早速此の問題を解決せんとしても駄目ではないかと思ふ。之の問題を解決する鍵は勿論、我等の日常の行動にある事を痛感す。之には相当の時間を要することは言を要せず。／今年の応募者は去年に比して減少した事は、世々の去年と今年との社会事情に於て、多少の相違があるとしても、実に我等の学園にとって一大重要問題だと思ふ。社会は形式だけにしても民主的な装ひになって居るにも拘わらず減少したとは、学校側も二年生、又一年生もよく考へねばならぬ問題だ。／出席不振と言ふ事も上の如く現象からして、当然のことではないでせうか。但し其の当然が将来の日本の前進に対して悪寒の念に耐へないのである。だが我等は悲観は毒物だ。悲観するには及ばぬと思ふ。我が学園の主旨に徹すると言ふ事は我等として容易なことではない。少なかれ連日出席する数名だけでも、主旨に徹し頭を使ふと共に、より一層に手と足を以て、日常の生活を送る事とせねばならぬ。／柳本〔義次〕記

17

6月12日 木 曇

午前中時間割通り。午後の政治思想史も時間割通り。独語は、〔“〕一年生は月曜日で今日は二年生が本日〔”〕と二年生の申込みにより我等との申合わせにより、一年は本日はなし。

近頃人数は少な〔い〕にせよ、軌道に乗りかけた感がして力強い。／本日二時限の先生のおこしてなるなる〔お越しになる〕迄15分程だ。／松本〔耕三〕君の提案により、「バッザ」「帽子」問題に対する生徒会議あり。／会議は予告もなしに突然であつたのであつたが、議長等の問題も自ら行ふと云う者もあり、少し反省せねばならぬ点もあるが、意気揚々として、今迄の会議に見られぬ積極性があつた。結局、五六名の態度の不明な人もあつたが、全体賛成であつたが、突然でもあり時間もなかつたので再会^{〔開〕}の必要ありと思ふ。／柳本〔義次〕記

18

6月13日 金曜日

朝、梨木通り、楠や桜の芽青葉の若々しいそよぎ。こんなにも圧力には弱い、生きの力にあふれてはゐるが、その一つ一つは柔らかい。従ってどうにでもなる。我々の学園もさうだ。行動は迅速でなければいけなからうが、もっと慎重でなければならぬ、等々、考へながら歩く。さうだ。〔徳富〕蘆花も此の道を毎日の様に歩いたと聴く。昔日の様に熊笹の原も続いてゐない。煤けてもゐるだらう。しかし、御所の覆ひ被さる様な木々の若葉や、足下のにこ草や、このすばらしくすがすがしい大気に、初夏の大気に変りはなからう。ふっと彼の“思い出の記”が脳裏に浮ぶ。／8.00～10.00 hr. 京大生物学教室の、朝山新一²⁾先生の「性」に関する特別講演あり。お話の至る処に種々の示唆あり。聴講者一同感銘深かった事と思ふ。性の分化と生命力、政治力との問題。間性による性質の変化とその長短所。小児の素直さとか、成人になってからの能力・理性・良心等の諸特質と「性」との関係、何時かは調べておかねばならぬ問題も多々考へられる。／10.00-12.00. 浜田先生 国語の歴史の変遷、都会と田舎との相違、等々。／講義の咀嚼といふことが何れだけ大切な必要な事か、今さらのことと思ふ。重要な問題が提示され、そして、その解決への鍵の示唆が行はれる。／放課後、周囲に居たクラスメートの全員が自発的に掃除をして下さった。有り難く、嬉しく、潔らかな学園完成への純真な一歩が踏み出されつつある。これこそ頭の下がる尊くも価値高い一歩なのだ。／(松村記)

19

6月14日 土曜日 晴

何故教場へ出ない所謂“御所行き”の生徒が居るのか。私自身もその一人なのだ。学園を廻る色々な事柄を考へて見ると、その人達を一概に批難出来ない点を見出し得る様に思ふ。個人個人の考へで違ふであらうが、私の知る限り、“悩める人”と思ひたい。／事実、何かの問題を捉へて対決しようとしてゐる人達にとって、授業は凡そ退屈極まるものであり、出席した所で自分の課題に引きづられて先生の講義が頭に入らず、恐らくノートするのも億劫になるのではないかと思ふ。／問題は“何の悩みか”と云ふ事になる。之は第三者から見れば実に笑止千万な^{〔つま〕}積らないものに見える場合が多いけれども、その解決はその人にとって大きな問題であり、自己を左右するものである事は確實だらうと思ふ。／その様な人達を無理に教場へ引づり込むのも考へものであり、友としてはそっとして良く考へさせてやりたい気持ちが私には多い。勿論例外はある。

———〔改行〕

梅雨時期に入って毎日頭が圧されてゐる様だし、出席も少なくなるだらう。だけど私たちはそれを吹きとばして頑張らう。私達が背負ったものは想像以上に大きく歩行の困難はそれ以上で

あるだらう。然し私達は現代人たり得る喜びを忘れてはならない。

22

6月17日 〔太陽と雲のイラスト〕

入学式以来大きな問題として残された欠席者に関する件で有るが、本日全生徒召集を行ひ久野〔収〕教授より感激新なる^{〔患〕}注告を受けた。久野教授曰く「〔〕過去日本を支配せる東大京大の奴輩が大きな失敗を演じた。彼等の学問は学問に非ざるもので有る。吾々は過去斯うした奴輩と学問的に闘争し彼等に反対したが餘りの社会制度の敗タイから遂に認められず大東亜戦争を惹起した。吾々は其の責任の上からも皆に真の学問を授け真の良き市民にせしめ日本再建を目指さなくてはならぬ。学校へ出る事を強制は勿論しないが然し良き市民と成る為に学校へ出て来ることを願望する」。何たる良き人格者だ、人間的につりあってゐる。／委員として最早約一ヶ月経過した。餘り仕事は無かった。仕事が無いのではなく寧ろ見付けなかったのだらう。全生徒の期待の何分の一にかなったらう、否だ、裏切ったのではなからうか。思へば己れの力の足らざりしを悲しむ。全生徒打揃ひ一度会合し、心行く迄話したい。〔作成者記名なし〕

23

6月18日 〔太陽のイラスト〕

西洋史 法律 英語 英語と時間割通り

今日は俺は或る思ひから朝七時学校へ到った。／学校には未だ誰れ一人来ていなかった。朝の掃除の様子は非常に良い。本日の当番さんは真面目で有る。やがて掃除も終り生徒が一人又一人と増して行つた。／ルネッサンス〇「方偏に包?「旋(めぐ)」?」り、西洋に Humainty が発展し、近代社会が生れた。日本に於いては如何だ、鎖国に続いて軍閥横行独断、国民は人間性を^{〔東〕}圧迫拘策され、遂に大東亜戦を起し敗戦を生じた。国民は過去^{〔ママ〕}の日本を怒んだ、笑った、そして人間性を獲得する事の出来る機会を持つことが出来る喜ぶべき新しい時代が到来した。／国民口を揃へ自由・平等・平和・人間生^{〔性〕}の獲得と叫んで居るが、果して其の成果は如何だ。／吾が学園は日一日と理想に近づいてゐる。日本の Renaissance は我が学園の生徒が行ふのである。俺は少なくとも斯う信ずる。／ M. Ishihara 〔石原真人〕

26 〔ノンブル 24-25 は欠〕

6月19日 雨後晴 木曜日

8時より東洋史 10時より日本史 1時より政治思想史

東洋史よりは日本史より面白く、日本史はつまらないと思っていたが、西洋史、東洋史、日本史三つを一つにして見て行くと面白いからと云はれ静聴して見たらばねむくなく面白い様に、

又よく解る様な気持がした。／昼食は佐々木〔時雄〕・久野〔収〕両先生との会食。／久野先生は、出来るだけたたかれろ、といはれた。たたかれてこそ延びるがたたかれるのも頭をたたかれろ、といはれた。実際、成程と思ふ。ぶつてくれと頭を出すには勇気が必要だ。／自己を飾らば外見に捕はれず進〔ん〕で行こう。／放課後、記念祭に就ての委員会。委員の不活発は、先生、又二年からも云はれ、私達互にも解っているにもかはらず順調に運ばないのは何故か。／記念祭を面白く論快に過したひと思ふは誰も同じで有るが、^{〔未〕}今だ生徒間の融和が出来ていない為、充分な事は出来ないと思ふ。此の点、先生・二年生には、御許し願ひたひ。／家村〔光枝〕記

27

6月20日 金曜日 梅雨晴

8.00 生理学 朝山〔新一〕先生 10.00 国語／1.2年女子会食／4.30 夕刊京都新聞主催 漱石しのぶ会(師弟について 漱石と女性) 久米正雄³⁾氏・松岡穰⁴⁾氏

国語の講義はいつも芳しからず。先生の御反省を乞。1,2年生の女子会食あり。“友情”“女の悩”…等について話合った。森田〔敦子〕さんの悩みには皆んな悩まされた…? 結局は寂しさから来るのではなかろうか?…と思ふ。寂しさを超越し、悟り、苦痛の中より幸福を見出し、他人の為に生きる、愛に生きるのです。愛とは何と難しい事でせう…。／御所の芝生で一部の人と語り合った(恋愛について)。恋愛にも色々な型と云ふものであろう。遊戯的なものもあらう。又、結婚を前提とした恋愛もありませう。如何でせう? 私は思ふ。一度、自己を亡^{スガタ}して、再び自己を異性の中に見出すのが真実でなからうかと、…—又、恋愛によって人生の相を観、真の人生を送る事が出来るのではないでせうか。真の恋愛程、至難な事はありません。或ひは、斯る恋愛は夢に過ぎないかも知れません。恋愛至上主義者でない私は、はっきり知らない。皆んな真剣な面持ちで知らぬ間に4時30分。

椿は枝にある時より、土の上に落ちている方が美しい。／紅いのより白が美しい。／

咲き切ったのより蕾が美しい。／ Y. Kuriyama

28

6月21日 土曜日 曇

8.00 数学 10.00 英語(三島〔泰治〕先生)／1.00 文学史 2.00 政治思想史(岡田〔良夫〕先生)／3.00 会計

一年の出席者、特に午前中は少い。その理由がどこにあるか、私にはわからない。しかし、私自身にもあまり出たくない時間があるのだから、その点から幾分わかる気もする。／26日、学園祭があるが、全般の関心がうすい。何か一部の人がやっていて全般としての動きが見られな

い。もつと全体が積極的になつてもいいのではなからうか。／人はみな悩みを持つてゐる。私も人生の悩みを自分一人で背込んでゐる様に感じてゐた。今私は中学生を見るとき、何かうつくしい、たのしい気分につゝまれた幸福な姿を見るよ様な気がしてならない。しかし私自身が中学生であつた時、決して自己の境遇に満足してはいなかつた。今の自身についても、又、たのしい思ひ出となつて解雇する時があると思へば、なぐさめられないでもない。

佐々木〔時雄〕先生 文学史は一学期中に完了の予定。第二学期からのプランを全員にて定める事。

高井さん 月曜日、午前九時までに全員集合。火曜日、水曜日は休み。

29

6月23, 23, 25日

学園祭の準備の為、休講／然し演出の練習、バザーの準備の為に各々の担当者が登校

6月26日 曇 木曜日

日頃練習の妙を発揮する時は来る。美しく飾られた舞台、生徒の顔は明るく、午前九時過ぎ高井〔昭三〕君の開会の言葉によつて学園祭の幕は切られぬ。／次々とプログラムに従つて妙技は演ぜられ、起ル拍手と爆笑の中にとゞこほりなく学園祭は奥内〔ヨシ子〕さんの閉会の言葉によつて幕を閉ぢぬ。そして後始末を過^{〔演〕}ました時に新村〔猛〕先生より／“我々のこの校舎が文化会館とか言ふ名の本に映画館とか何かにされる様な運動があり、我々が出なければならぬ様な危機に面してゐる。しかし、円満に解決するだらう、又その様に努力すると。しかし、我々がこの運動に対処し現存を保たんとするには、諸君の熱意にかゝるものである。又、連絡不行届の為に工事人が学校に来るかも知れないが、諸君は殺氣立たぬ様に〔〕”。／久野〔収〕先生からも〔“〕諸君は毎日出てきてゐる事が問題解決に対〔す〕る重要な役割をするからぜひ毎日出てくる様に〔〕”。／話が終る頃、工事人や其の係の人が来た。そして木や板をもう持つて来たが、相手の係の人と先生方と話合になり、今少しまつてくれと学校側より係の人に申し込まれたが、工事が急ぐのですと言つて態度が曖昧であつた。／委員会を開き、これに対処すべき事項を決定す。

(1) 明日の欠席者に対し召集すべき葉書を出す／(2) 明日工事人が来て工作を初めたときは代表が府の方へ訴へる

30

6.27 曇後雨 金曜日

26日記念祭をやり非常にまづく、此んなものをしたやつのが知れん。自分は途中で逃げ帰った。ちょうど26日で自分等委員が選ばれて一ヶ月であるので、自分は辞表をまとめ様と

思つたが、記念祭で^{〔昔〕}見ないそいそした様な日なので、やめた。今日27日やろうと思つたが校舎問題が起り、言ふ機会がなかつた。校舎問題とにらみ合はせて、来月(7月)一日まで持〔ち〕こす事にしようかと考へたりしている。要するに、我々の委員は今日かぎりである。最後に、委員長として此の日誌の頁をよごさしてもらふ事に対して感謝する。又、委員の人々も自分の様な者を委員長として今日までやつて下さつた事に深く深く御礼を申し上げ、委員長としていけなかつた事を深く陳謝致します。又、生徒諸君に対しても、いろいろ悪い事がありました。例へば、校章バッチの件にしても、一ヶ月を通じて生徒大会で可決した事もたつた二つしか有りません。議題提案も八つ乃至十以上もありましたが、提案を二つしか可決出来なかつた事は不詳松本の罪で、他の委員の罪でない事を神〔に〕かけて此に証言致して居き、生徒諸君に深く陳謝致します。生徒諸君を克くする委員の職に有〔り〕ながら、かへつて諸君に対し^{〔見〕}意伴対立のため悪く致しました事は委員長としてはなはだ至らなかつた事を深く先生及び生徒諸君に対して^{〔お詫び〕}をはびを致します。また、石原〔真人〕副委員長・柳本〔義次〕二君〔に〕対しては委員長としてなんと御礼を申し上げたらよいか分かりません。次に私は後継委員として二人の立派な先生にゴマをすり2年生にベンチャラをつかう〔点線下線箇所は赤字〕福島か福井か知らないが高等工業を卒業せられたる人格者◇◇〔翻刻者の判断で伏字とした〕氏と、帝大を御卒業せられ我々委員に選出せられた△△〔翻刻者の判断で伏字とした〕の両氏を此にレコメンド(推挙)致して居きます。此の二人に対しては、^{〔つくづく〕}つかづくぐいかなる文明のもとにも水と油はまぢらと言ふ事を感じさせられた。此の両氏が委員に出られたなら二年生には接遇し、結果は一年が2年生にリック(lick)されるであらう。私は今日まであらゆる点に2年生に反対し、私は二年生は相手とせずの外交方針を取つて来た。此の点からして◇◇氏△△氏〔ノート枠外に「(此が××××)」と20文字ほど赤字の文章があるが判読困難〕

31

〔前頁から続き〕と相入れざるものがあつた。彼等は対等につきあふならよいが私の見たところでは2年生に屈從的につきあつてゐる。此が個人ならよいが彼等がこうするが故に我々1年生が2年生にステューピッド(stupid)されるのである。2年生もである2年生である。何がそう指導者ぶつて見たいのであるか、又偉さうぶつてみたいのか。今日の校舎の問題でも、あれは何んだ、何を会議したのかさっぱりわからん。午後和風書院で何かやつたらしいが何の必要があつて生徒会議を開くか。要はもう明けわたすと言ふ事にきまつてゐるではないか。今日の2年の□□〔翻刻者の判断で伏字とした〕のざまはあれは何んだ。ちょうど共産党の徳田球一⁵⁾が2・1ストをせんだうした様な結果をもくろんでゐるではないか。結局2・1ストの結果、現在我々の直面せる問題と同じだと思ふ。何の為に法律をを^{ツラ}かしてまで闘争する必要があるか。□□〔翻刻者の判断で伏字とした〕と言ふ野郎は面まで徳田球一によく似ている。早く新しい

校舎を見つける事に要がある。とにかく2年生は小田原評定が好〔き〕と見える^{〔ママ〕}。今日の会議で（従来のでも）あれが民主々義をとなへてデモクラシイーをとなへヒュウマニズムを口にして我々を説教する。真の（ごま）であらう、（2年生の）あれが民主々義なら軍国主義、全体主義の方がずうとしました。フランスの英雄ナポレオンが議会とは馬鹿者インテリーの騷擾の場所であると言ったが、最にそうである。あの様な会議に出席するなら下宿でねころんで歩兵操典の一頁でも読んだ方がました。校舎をさがすと言ふ事には少しも目を向けないでやれ闘争だなんだかんだとわいわい言って居る。とにかくあゝしてわいわいさはぐやつは馬鹿だ。馬鹿の仲間入はごめんだ。□□□〔翻刻者の判断で伏字とした〕は海兵の生徒^{〔生〕}だったそうだが、あう言ふ馬鹿が将来何々司令官だ艦長となつて海軍の指揮をふるから戦争にも負けるのだ。山本〔五十六〕にせよもミンドウエーまで軍艦を引つ張つて行き、日本海軍の六割もたたかれ、相手の軍艦を二三せきしかようたたかん。名将だし古賀〔峯一⁶¹⁾〕にせよ、飛行機がついらくして捕虜となり死ねば元帥だ。江田島精神⁷⁾より、俺の特攻精神の方が数倍上だらう。「とにかく」此が民主々義なら俺は本の軍国主義^{〔元〕}々に後もどりする。その方がよつぽどました。俺が特攻教科書を読ませたるから気合のぬけたやつはこい——

32

すでに俺は軍国主義者だと一部から定評を受けてゐる。あれで民主々義と言ふならば、確〔か〕に軍国主義の方がました。又、俺と言ふ人間は人にゴマをすつたりべんちゃらをつかつたりする事が大変きらひである。◇◇〔翻刻者の判断で伏字とした〕や△△〔翻刻者の判断で伏字とした〕のベンチャラに先生や2年生はなんとなく感じてゐたかは知らぬと言ふ事をつけくはへてをく。とにかく従来の日本の軍隊にも少し教養をあたへたら人生のよい修練道場である。協働精神を忍耐力を養ふ上にをいても、人文学園一ヶ月の修練で私は此の様な気持となつた。「も少し」民主的なら民主的にやつてほしいものだ。

近衛〔文麿〕公の新体制運動に手をたたいて喜〔ん〕だ／やつが今日は売国奴野坂参三の帰国^{〔喝采〕}にかつさいする

野坂とか鹿地〔亘⁸⁾〕と言ふ様な、他国にありて国民を敗戦の悲劇につきをとそうとしたやつがゐたのだ、そしてかへれば軍閥の手先と非^{〔難〕}なんする。第二のヒートラー、第二のムツソーリー出でよ。我々の祖先は元の大軍をやぶつたのだ。今、アメリカ・イギリス、ソ聯、支那の如き青二才に負けるなら、弘安の昔〔に〕元の国に負けた方がまだしも名^{〔譽〕}よであつた。

だが 此の屈辱も忍んで五十年

此が今日一中日の私の心境であつた。腹がたつて字もろくに書けぬ。／（松本〔耕三〕記）

33

六月二十八日 土曜日 曇

一、二年山口仏教会館へ集合。大久保〔二期生で大久保性は、大久保忠三、大久保二郎の2人〕氏より昨日の選出委員ト園長〔新村猛〕トノ会談ノ報告ヲ行フ。即〔チ〕、暴力的闘争ハ彼等悪ラツナル資本家ヲシテアメリカ占領軍ヘ左翼暴力ノ学園トシテ「ザンソ」サレ、ソレハ不利トナルノデ、^{〔子〕}銚ヲオサメル事ヲ述ベラレル。之ニツイテ、昨日ノ□□〔翻刻者の判断で伏字とした〕・○○〔翻刻者の判断で伏字とした〕ヘノ批判論議ノ後、校舎問題委員ヲ選出スルタメ会議ヲ開ク。二年四名、一年二名(吉田〔九州穂〕・西部〔登美子〕・田中〔伸子〕・杉本〔喜代巳〕、田中、中村〔二期生の中村姓は、中村祐・中村久子の2人〕)ノ其後、一年委員ノ改選。柳本〔義次〕(委員長)、余〔廷壽〕、田中、松本〔耕三〕、宮嶋〔八蔵〕、天野〔一郎〕、儀峨〔正三郎〕、諸氏ニ決定。ノ午後、一・二年合同授業。

附記並ニ感想ノ授業後、和風書院ノ掃除ニツキー・二年委員会及ビ校舎委員会増員ノ件ニツキ、打アワセアリ。ノ今日ノ生徒委員改選ノ議會ハ全ク人文学園ノ生徒トシテ恥ズカシキモノナリ。大切ナ委員選挙ヲコノ様ニ、ウヤムヤニスマシテシマツタ事ヲ真ニ^{〔遺憾〕}異感トスルコロデアル。

34

六月三十日 月曜日 晴

講義 8.00-10.00 教養ノ 10.00-12.00 社会学ノ 外語 独・中 13.00-15.00 ノ出席数 約40名

生徒委員会 時 12.00-13.00 所 教室 出席者 柳本〔義次〕、田中、宮田、天野〔一郎〕、儀峨〔正三郎〕、余〔廷壽〕ノ決議 生徒會議召集日時 木・金両日 12.00-13.00 ノ提出案件 1. 議長選出方法 2. 輿論箱設置の件 3. 各種倶楽部結成の件

各委員役割分担 先生・二年生連絡 田中・余ノ掃除 天野・松本〔耕三〕

会計 儀峨・宮嶋〔八蔵〕ノ總 柳本〔義次〕

感想 最近授業開始時間が乱れて来た。講師側生徒共に事情はあると思ふが、萬難を排してでも時間を厳守して欲しい為、止むなき理由が確認されれば開始時間を適宜改正すべきだと思ふ。決定されたものが実行されなくなると、決定に対する遵守の気持は薄らいで来る。時間に対する観念を如何に高めるかは、合理主義に立脚する民主主義のもっとも身近かにして、もっとも重要事の一つであらう。これを如何に厳守するかは、そのきめ方が実情に適して居るか否かにかかって居る。実情を適確に把握するには調査による資料蒐集や活潑的な輿論^{〔喚〕}を喚気させねばならぬ。如何にして各自の率直なる意見を忌憚無く発表せしめるかは学院の将来を決する重要事であらう。今日の委員会は一致して此の点を認め、努力することを誓った。余〔廷壽〕

35

七月一日 火曜日 雨

講義 0800-1000 経済 青山〔秀夫〕先生／1000-1200 論理 久野〔収〕先生／1300-1500 法律 恒藤〔武二〕先生／1500- エスペラント 英語

委員会ノ決議事項及び時期生徒会議ノ日時ノ通達 生徒会議（木曜日ノ昼食時）／掃除割ノ決定
感想 論理学ノ根本的ナ問題ニツイテ講義ノ内容ガ何時モノ久野先生ノ講義ヨリモ理解ガ容易
デアツタ事ハ喜バシイガ、全テノ学問ヲ勉強スル上ニ何故吾々が生キネバナラスカト言フ事ヲ
解決セネバナラナイト思フ。／我々が莫然ト生キナガラ、経済ヤ政治ノ勉強（考ヘ行動スル）
ガ何ニナルドラウカ。経済的ニモ社会的ニモ精神的ニモ、全テノ点デ恵マレタ人ガ自殺ヲ敢テ
スルノハ、何故ドラウカ。／ソレハ、生キル事ノ意義ヲ把握シテキナイカラドラウト思ハレル。
無条件ニ「自己ノ苦痛ヲ逃レル為ニ死ヲ選ブ事ハ罪惡デアル」事を肯定セネバ、生キル事ノ意
義ヲ把握シテキナイ。如何ナル恵マレタ人ト言ヘドモ、絶望ノ極ニ達スレバ、死ヲ選ブデアラ
ウ。我々が論理的ニ生活ノ根源ヲ把握シテ生活シ、人文主義ニモトズク全人類ノ幸福ノ大伽藍
ヲ理想トスルニハ、「生」「死」ノ問題ヲ解決セネバナラナイト信ズル。ソノ意味デ我々ノ講義
内容モケントウサレルベキデハナイカト思フ。／宮嶋〔八蔵〕

36

七月二日 水曜日 曇

講義 西洋史（市川〔承八郎〕）8.00-10.00／法律学（恒藤〔武二〕）10.00-12.00／中級英語
（三島〔泰治〕）／上級英語（管〔菅泰男〕）休講

主整数 三十名台／吉田〔九洲穂〕二年委員ヨリ学生協議会ノ会議報告。／（S.G〔儀峨正三郎
か〕記）

37

七月三日 木曜日 晴

講義時間割通り

昼食後 12.20 分ヨリ生徒会議行ハル。今回は議長として委員会ヨリ山崎〔利一〕君を指名、賛
成を得、同君ノ議事進行の下に会議を行つた。

議題

1. 委員外ヨリノ議長選任ノ件 決／モット深く検討ノ余地アリトスル者 15 名／今スグ採決
ヲトラントスル者 18 名 の結果今スグ議長撰出ノ可決を決する事となり／可 19 名 否 9 名に
て条件付選任議長ノ件採用サル
2. クラブ（英語・数学）ノ件／自由ニ勉強セントスル者ガ集ツテクラブを作り活動ヲ開始ス

ル事となった。／後の議題は明日の生徒会議に持越

・今日の生徒会議に関する感想 僕達が此の学園に入つて一箇月余、此の間数回に渡つて生徒会議があつた。而〔し〕て此の民主主義的多数決制の原則に立つた僕等の生徒会議は、未だびつたり僕達の身についたとは云へない。而し僕達は一日一日と生長して行く。昨日よりは今日、今日よりは明日と進歩の道程へ。今日の会議は色々な欠点もあろうが、今までに見られぬ真面目さ、議事進行のスムーズさが見られた事は嬉しかった。其他、委員の議題提出にもつと明瞭な説明、綿密な用意・計画性が欲しいと共に、もつとどし／＼発言デスカッションが欲しい。最後に今日の山崎〔利一〕君の議長振〔り〕は称賛されていいと思ふ。天野〔一郎〕記
附記 午後五時ヨリ社会科学研究クラブ例会にて西内克己〔西口克己⁹⁾か〕氏の話を聴す。

38

七月四日 金曜日 晴

講義 1時間目 国語／2時間目 佐々木〔時雄〕先生の生徒会議の運営法についての有益なるお話(自然科学市川〔亀久弥〕先生休講)

佐々木先生の話への感想／イタリー・ボロミヤ大学から沿革から我々学校の設立事情の客観的な見解は過日の山口仏教会館撤収可否の生徒会議の態度について大なる反省をうながす物だった。又、我々一年の生徒会議の議題選出討議決定についての批判も痛烈に我々の欠点をつかれた。／これは我々が未熟なる故であり、冷静に反省検討して素直な気持で明日への糧として受取りたい。

生徒会議 12時20分～1時30分 所 教室 議長 山崎〔利一〕君

1. 輿論箱設置の件／設置多数を持つて、可決さる。輿論箱委員選出 一名現生徒委員より、一名委員外生徒より選出／2. 女子委員追加選出の件／討議採決の結果、可決さる。追加女子委員一名は全員選挙によることとなった。

生徒会議に対する感想／今日も真面目な空気の下に終止会議^{〔始〕}が続行せられた事は嬉しかった。しかし、提出された議題に対する疑〔問〕点の質問・批判・反撥等が未だ未だ足りない。又、議案提出者の用意も実^{〔報〕}に疎略であり、もつと／＼綿密性・計画性を加へていただきたい。又、欠席者多く、会議出席生徒人数は三十数人余、生徒会議は数日前に予告してあるのだ、色々事情はあろうがその無関心さには物足りないものが感ぜらる。天野〔一郎〕記

39

七月五日 土曜日 晴

講義 時間割通り

夏がやってきた。数日前までじめ／＼^{〔〜〕}空気はカラリと晴れて、道行く人は上衣をぬいだ白いワ

イシヤツ姿、汗で顔がジツトリと光つてゐる。太陽の夏、白き光線の夏。戦争以前なら、僕等は山へ海へ澁漉たる青春を楽しみにキャンピングをかつぎ、食料のギッシリつまったリックサックを背負つて出かけた物だ。而し、今の世の嵐は私達の学生生活にも所きらずひし／＼と押懸けて来る。アルバイトへ明日の学資をかせぎに行く人もあらう。遅配欠配に苦しみ続けた下宿生活を去り、しばし温き両親の膝下にもどる人もあらう。私達の学生生活には昔日の面影はない。この嵐、この苦み。而し、私達はこれに〇〇〔判読困難、「耐へ」か〕抜いて行こう。この混沌たる社会にゐて、苦しいながらも温い親の犠牲によつて歓び溢れつゝ生活出来るのは、大いなる特権なのだ。而し、我々はこの特権にあまへてはならない。私達はこの特権に対して良心を通じて反省を加へて見なければならない。そして、私達が社会に飛込む明日の日までたへず今の世をじつとにらみつつ、今日の勉学にベストを尽くさねばならぬ。／教室の空気／私達が此の学校に入つて一月半。最初は顔を合しても一言も話しかけずひそかに寂しさを感じつつも、日々学校にやつて来たものだ。而し、最近の教室の空気はなごやかになつて来た。昼食時、飯をほゝぱりつつ女の人と楽しそうに語り合つてゐる人、二三人グループを作つて口角泡を飛ばして議論風発をしてゐる人。僕は特に女の方のノビ／＼とした態度に喜びを感じる。私は以前に此の様な空気を見た事がなかつた。この和〔やか〕さから真の友情が生れ、団結が生れるのだ。私達の楽しく話してゐる顔に夏風が吹いて来る。私たちに幸福あれ。 天野〔一郎〕記

40

七月七日 月曜日 晴

午前中 時間割通り 午後 独語今回休講、金曜午後二変更

第一次限の時に新村〔猛〕先生より校舎問題（国学院の件）は、順調に進行中にて近日中に定まるだろう、と喜ばしい御報告あり。又、校舎問題等で外国語が遅れたので来週は外国語をやりたい考へだのご意見を述べられた。二年生の杉本〔一期生の杉本姓は杉本正二、杉本喜代巳の2名〕君より、市川〔亀久弥〕先生の御病気が樂觀を許さぬ旨のお話しあり、我等は御見舞金として、互に出し合ひ、295 円 10 銭あつたと同氏より御報告あり。

委員会を放課後開く。松本〔耕三〕、宮嶋〔八蔵〕、天野〔一郎〕君欠席。／先週金曜日に委員会に委任された、議長規約を起草す。明日の生徒会議に提出する予定。

1. 議長資格 本学園一年生（聴講生含む）／2. 〳〳任期 一ヶ月（今回限に限り九月末日）／3. 〳〳権限、任務／（イ）原則的に会議日二日間に其の議題・時間・場所を、生徒に通告する事／（ロ）生徒会議開催には生徒十名以上及び生徒委員会の要求ある時に会議を開く事（ハ）初期（1 名）をく事を得る／（書記の資格・任期は議長に同じで、議長不在の時は議長を代行する）／（ニ）生徒会議で決定した事項は委員会に報告の事／柳本〔義次〕記

41

七月八日 火

講義^(義) 1時間目 教養 新村〔猛〕先生／2時間目 社会学 重松〔俊明〕先生

新村〔猛〕先生の教養の時間は、常に私たちの関心時たる問題を取上げて話していただけるので大いに興味あり、又、反省される事がある。過般来の憲法の解説より始まつた言論・思想・結社の自由、幸福の追求への説明・批判、民主主義についての話、今日の戦争犯罪人国際裁辯の問題等、吾々はもつと――此等の問題を現在への緊要時として促^(促)へ、過去を反省・批判すれば我々がぶちあたつてゐる混沌たる壁に対する解決のポイントとなると思ふ。哲学をやるもいい、文学をやるもいい、而し我々は我々がぶち当つてゐる現在を忘れてはならない、現実を直視せねばならない現実を忘れてはならない。現実を忘れた理想は空想にしかあり得ない。此の意味に於ても我々はもつと現在ころがつている色々な問題を考察して見る事が必要ではなからうか。口では大きな理論を振舞して人をやつつけるのに征服欲を満足させてゐる人間もある。そして彼等の大部分の人間に、現在日本が我々がぶち当つてゐる種々雑多な山積した困難な問題をたず^(たず)わて見たまへ。彼等は昂然として頭をもち上げて、そんなつまらぬ問題を聞〔か〕ない、俺はそんなつまらぬ問題にこだはつておられないのだ、俺の考へてゐるのはもつと――と宏大な理想なんだ、そんなつまらぬ事を考へてばかりゐるから虫の様な人間になるんだ、それで日本を動かす様な人間になれるか、とばかりうそぶくであらう。私情走筆多謝。天野〔一郎〕記

42

七月九日 水

講義^(義) 時間割通り 午前／二時間とも休講 午後

昼食後、12.20分より生徒会議あり(昨日に引続き行はる)／場所 和風書院教室内 /議長 石井君 書記 天野〔一郎〕／議事 選任議長選出 全員選挙の結果 山崎〔利一〕君／女子追加委員……奥内〔ヨシ子〕さん／輿論箱委員一名……金水〔嘉昭〕君／一名 委員内より選出 柳本〔義次〕君

かの様にして前の委員選挙と相待^(俟)つてスタッフは一応そろつた事となつた。皆が委員に不満・批判・希望があれば、どし〔どし〕申し出で、こせ――したアラさがしをやらず大いに一度己達が選出したので協力して建設的にやつてやろうと思ふ気持ちが望ましい。又、委員は委員で自分のアラをかくすのに汲々としてボロをかくそうと云ふ態度は浅ましい。現に、その様な態度が生徒会議の議題過^(程)呈の時に現はれてゐるのだ。此の批判に対し用意のない所は、その場作りのあてすつぽうな答を辯解をやらず、いさぎよく用意の不十分な所を認めて皆とその欠点を討議し、足らざる所をおぎなつて少しでもその議題を意義あり欠点なき物にしようとする

態度がのぞましい。／天野〔一郎〕記

43

七月十日 木

講義^{〔義〕} 時間割通り

44

七月十一

45

七月十二日

46〔本文白紙〕

47

22th, Oct, (Tu.) C〔cloud か〕

※講義 Time-tablet 通り

※第二時限、政治思想史の時間に新村〔猛〕園長の発言あり。／(概略) 我々わ、長い間我々の本據たるべき校舎の問題で不安な日を送った。だが、吾々わ今この地に念願の我々自身の校舎を持つことが出来た。／ともすれば停滞がちであった我々の活動を今こそ我々の高く掲げる理想、新しい教育、新しい学問、新しい人間の完成に邁進すべきである。又、今までわ我々自身の問題をのみ応えてゐたが、もっと積極的に対外的にも働きかけなければならない。それら理想への第一歩として、先づ第一に学問に於ける生徒の自主性の確立をしなければならない。／(具体としての advice) a. 既在觀念としての試験制でわなく、我々自身の勉学に対する何等かの手がかり、教授側の授業に対する成果、又、それに依るより良き指導の指針となす為の試験制度の設定。b. 図書部の設定。c. 学外の人にも何等かの形で授業を開放すること。

※永井〔道雄〕先生よりの advice／先生自身としてわ、只決められた時間に講義する丈けでわ、新しい教育の完成に疑いを抱く。もっと生先^{〔先生〕}と生徒の間に意見の交換、積極的な研学が行はれて初めて成果が上るものを信ずる。だが、生徒と先生わ昔の塾の如き起居を共にすることが出来ないから、それを補うものとして試験制度の設定を提案する。

※私見 先づ試験制度に就てわ、実際問題として次の様に分けられると思う(勿論、二先生の設定理由に於てのみである、そして私はこれに全面的に賛成する)。

①教授側寄りの一斉試験 ②全個別的私見 ③生徒側寄りの自主的報告 (report)

上記①②の場合は、實際的にわどうであらうとも我々新しい研學精神と根本的には相反してゐる。又、各自の將來の希望・方針等に於て、①の場合の一斉試験にはその自分の専門^(門)を深く究め様とするものにわ、極めて重負担であり不合理である。又、不勉強の人をより試験の重圧(これは眞の意味を解さない人だけである)から不勉強にする〔次頁へ続く〕

48

弊が興らないとも限らない。③の場合が一番理想的であると思われる。然し、この場合の弊としてわ、生徒が本当に自主的に全科に亘つて報告を出さないことに依つて興る。そして、これわ今の段階現状としてわ恐らく決定的なことであり、全科に亘ると云うことわ①の弊を繰返すことになる。そこで私案として次のものを思える。

a. (一学期)或は授業内容の一くぎり単位に、各教授より課題を出して貰う／b. 一人に対する報告義務科目数を3科(4科)と決定する／c. 生徒は与えられた科目数全科目の課題より、義務科目数だけを選び研究報告する／d. 課題以外に義務として1科(2科)の自由研究を課する／e. 義務報告以外に自由報告を出す

49

拾月二十三日(木)

午前. 時間割通り終る 午後. 生徒会議の爲、独語の時間が30分短縮する

午後. 0時15分 現委員会提案第一回生徒会議開かる／議長. 石原〔真人〕君 書記. 石井
出席人員 名〔人数は空白〕

議案

1. 前委員より寢川君の事件に対する報告あり。天野〔一郎〕君／2. 現委員会より與へられた議題の概説説明、並びに委員の専門分野確定の報告あり。委員長 松田〔耕三〕君／(1) 授業料の値上げ (2) 事業部の設置 (3) 学園独自の祭日決定 (4) 今学期の行事決定 (5) 大津問題調査団の設置 (6) 在籍生徒の確認 (7)／3. (5) 大津問題調査団の設置承認を受け、5名の中、調査部より2名、他は委員の個別折衝／4. 始業時間繰下げについて、1年生としての希望調査 9時始業 8時半始業／5. 掃除担当日の決定、及び責任者の決定希望 奥内〔ヨシ子〕さん／第6議案として現委員会に対する生徒側の希望、及び委員側の今後の方針の説明は時間超過の爲中止。閉会午後1時25分。

―――〔改行〕

勉強せねばならないと言ふ意識が生徒の間に起つて來た。或〔る〕一部の人達は強硬にそれを主張する。永井〔道雄〕先生が投じた一石は大きく反映してゐる様だが、それよりも何故生徒側からその様な要望が出されないのか、僕としては不思議だ。1年生は兎も角、2年生迄も旧

態より何ら新しいものを作り上げようとするものを見る事が出来ないのは何故だらう。／僕はそれを久野〔収〕先生の反省的思惟の実践者でない様な気がする。総ての本を信ずるのなら、本は寧ろ読まない方がその人の為じゃないか？とこんな疑問も湧いて来る。／近頃の出席数は、大体数が確定して来たのだらうけれども、良い方だ。委員日誌のトップに書いた僕の文章を読むと、何だか世界が変つてゐる様な気もするのは何故だらうか。／最近、懷疑の為の懷疑にあつてゐるのか、総ての事象が疑がはしい。委員諸君の積極的な助言を待つ。少しパトスのな姿を見てゐる人は、お分りになるだらう。／何か書きたかつたが、何も書けなかつた。(石井記)

50

10月24日(金)曇

授業 第一時 国語 古今集／第二時 時事解説 フランス政党問題とイン^(コミンテルン)ターナショナル
(一般教養変更ノタメ)／第三時 華語 及 ロシヤ語

所感／・第一時国語受講者僅少。出欠を云々する程私は感想を持たないが、愈々古文に入つて行つたのであるから、古典解説として聴講する事は有意義と思はれる。／・第二時時事解説は有意義であつた。只解釈のあり方といふものは千差万別であつて一概に受入れる事は出来ないとしても。／尚、学園経営云々、並〔びに〕一年・二年生間の諸問題、研究会出席云々の件について、反省を要するものがあつた。斯うした問題は多く欠席者にある事は勿論だ。／・N君の登校は悦ぶべき事だ。我とても“断じて”と言ひ切れぬ侘しさを持つ私には君が虚心に登校し共学をするといふ事は嬉しい。／・何事も美しく協同してやるとすればやれぬことはない(何を書くんだ?)だから協同する為に協議が必要なんだ。ドラマにおちいつたり、自己の^(vanity)ヴァニティを完全に制御せなくては出来ない。公明正大といふことは誰にも納得の行くことなんだ。／・最初に所感などと大袈裟に書いたもんだから何だか教訓めいた事になつた。唾棄に堪へない。只これは“私自身”の為だつたかも知れない。／山崎〔利一〕記(妄言多謝)

51

25th Oct 1947(土)

授業 第一時 数学／第二時 法律／第三時 ドイツ文学／第四時 政治思想／第五時 会計学・休講

試験制度案が問題となつてゐる時、語学熱が高りつゝある様に感ぜられるのは喜ばしいこと、と思ふ。しかし、全体としてみる時、まだまとまりがない訳である。研究会等の様なものを設けても二手に比して香しくない。実践活動に乏しい書物を読んで勉強することはいふまでもないことであるが、知識のコレクションとしての学問ならまだしも、試験のための暗記のための学問であつてはならない。羽仁五郎¹⁰⁾氏が、専門学校教育を受けてゐるのは二百人に一人だ、

といはれた。この特権を将来社会において独占せずに、よき市民としてよき実践の人として青春に悔ひなき生活を為しているか否かを反省してみて、時に不安を感じるのは何故だろうか？今後科学は益々発達していくだらう。さうすれば生産様式は自ら変り従業員は何分の一かですむ。といふことは、失業者が多く出ることだ。／しかし、国の富が栄え、国民全体が要求するだけの生活物資を支給出来る様な社会が来ないとも限らぬ。これはあまりに理想的であるにしても、せめて働くものは人間らしい生活を出来る様になりたいものだ。不可能ではない。／よりよい社会を築いていくために、私たちは一歩々々学びつゝあるといふことを忘れずにいたいものだと思ふ。／Y.O.〔奥内ヨシ子か〕記

52

27th Oct 1947 (月)

ハイキング／午前九時 銀閣時集合^(寺)／参加人員 11 名 中、一年生 2 名／コース 山中越
10 時出発。途中より編め降り出す。11 時 20 分頃昼食す。山の頂上に小さい小屋ありき。雨しきりにふりつゞく。そこにて焚火を致し雑談す。軍隊の想ひ出話に話が咲き、2 時過ぎ出発。近江神宮に出る。電車に乗る。三条駅に四時着。解散。

53

4th NOV. [Tues.]

・Time-table 何時ものとはり、／・本日より午前 9 時から授業開始／○3 名わたくしたちのクラスに編入学されました。(／・出席者極めて多し。空席二つか三つ。／○久ノ^(野)〔収〕、青山〔秀夫〕両先生を囲む×ザダン会(昼食時間)1 年のみ
〔ぼくのかんがへ〕／1、出席者の多い少ないはどっちだっていゝ、要するにサボ的な気持でないならば、授業料の場合も或はさう云へはすまいか。／2、今日のザダン会は設問会^{〇〇}だった。思った通りなので甚だ恐縮だが、時間を限定されてゐたゝめ已むを得ない。併しぼくたちにとつてきゝのがすことの出来ない大切な問題に触れてあつた。即ちその一つは、新村〔猛〕園長の他日のお話にあつた“自己沈潜”に関連するものであつて——A 君の質問に対して“さういつた問題は自分自身がつと長く持ちこたへてよく研究した上で発表すべきだ”といった風なお応へだつた。恐らくどんなことでも、どんな些細なことでも研究して価値のないものはないだらう。又故に“絶対の探究”ほど至難なものゝない。故に或る question を解くからにはその process には並々ならぬ effort が秘められてゐなければならぬ。といふのが研究態度であらう。／こゝに於て辞典をひもとけば理解し得る様な問題を発表することは余りにも皮相的依存的であり、その反面並々ならぬ effort にも拘らず曙光のゝぞみめない時、已むを得ざるものとして発表する。そのことは理性的もあり賞讃すべき態度でもあらう。／だがこゝで注意す

べきは後者の場合余り強調されると、所謂その“自己沈潜家”となりたがり、宛ら“無言の行”といったことになり勝ちだ。勿論そのことは研究態度としてのぞましいがともすれば initiative を欠くことになり、本学園の生徒としては恥づべきことにもなる。ぼくなんか入学以来そのことのためのたゝかひを日々つけてゐる様である。／併し乍らぼくは“哲学は語られるものではなくて、語られざるものである”と又“耽読さるべきでなく味読さるべきだ”と確信する。／ごたごたと書いて失礼、／エス・エム・〔正木史郎か〕

54

11月5日（水曜日）

授業 午前 西洋史／政治思想史（一・二年合同）／午後 英語（三島〔泰治〕先生）／々々
（菅〔泰男〕先生）

55

6th Nov. (木) 晴

※講義 時間割通り

※生徒委員会／各委員ノ受持分担ヲ責任ヲ持シテヤルコトヲ委員長ヨリ要望／在籍生徒確認
出欠ノ自主的記録等ノ方法ヲ決定ス

※感想／生徒ノ中ニ 2 ツノ種類ガアル 1 ツワ委員会ニ対シテモ各専門部ニ対シテモ無関心的
デアリ 他ノ 1 ツワソノ逆デ 2 ツ或ヒハ 3 ツニ属シテ積極的ニ参加シテソレゾレノ分野デ実践
シテキル人達デアル／理想的ナ場合ヲ考ヘタ時場合 ソレゾレ各人ガ何等カノ中ニ入ツテ自分
ノ個性ヲ伸バスベキ努力シテ 此ノ学園ノ主旨ニ合致スル人トナル事デアラウ、而シ現実的ニ
積極的ナ人達ガ上ノ方デ動イテキル丈デアツテ 動カナイ人達ハ授業サヘ聞ケバ帰ツテシマヒ
ソレ以外ノ事柄ニハ冷淡ニ眺メテキル 此处ニ 1 年生ノ現在ノ 1 部分ガ表現サレテキル ソレ
ヲ心理的ニ見レバ非常ニ面白イ事ダラウト思フガ、近代的人間ヲ造リ上ゲントスル学園本来ノ
姿ヨリ見ルト全体的ニ見テ悲観的ダ ダガ僅カ半年ノ間ニ或 1 部ノ人達デモソノ様ナ方向ヘ伸
ビテ行カウトスル意欲ヲ見ルノハ良イ嬉シイ事実ダ 消極的ナ人達ヲ引張ツテ行ク事ハ難イガ
学園ニ出席スル事ニヨツテソレハ少シヅツ変ルデアラウシ 又ソノ為ニ積極的ナ人達ガ同ジ様
ニヒューマニスト^{〔方法〕}タラントスル意欲ヲ満足サセル様ナ場所ヲ作り出シテ行カナケレバナラナイ

56

7th Nov. (Fr.) F

※講義 Time-table 通り

※日本史の教授内容並法方の論義／先生より上記に^{〔方法〕}関して生徒の意見を聞かれた、これに関し

ては以前生徒側よりも新しい研學^{〔方法〕}方として筆記式の廃止を叫んでゐたが大変嬉しく思つた／結局生徒の大体の意向としてわ問題に焦点を与えてそれより関連して講義して貰うことであつた、

※合同委員会／11日の平和デーに關しての行事は日程の都合で取止めとする、一年間の学園に於る祭日の決定として14日までに資料を出すこと、自治会の細則を14日までに決定すること、14日に授業料に關する生徒大会を開くこと、

※所感／最近一年生の出席者は大変優秀だ他のことに就いても未だ確然としない者でも活潑になつて來た様な気がする　だが問題わ山積して而も困難だ、そして吾々わこれらを乗越えなければならぬ今こそ我々が大きい希望に燃えて総べての問題に接近すべき時だ

57

8th Nov. (Sat) F

授業　第一時　自然科学　牧野先生　物質構造論／第二時　国語　浜田〔敦〕先生　古今集／第三時　ドイツ文学史　白井〔竹次郎〕先生　クライスト and ギョエテ／第四時　政治史　岡田〔良夫〕先生　法妥当論／第五時　会計学　木村先生　①貸借対照表／②等価交換と労働価値説

授業感想／・一時限自然科学は先生の遅刻の為20分許りであつた、愈々本論に入つた様であるが少々ノート直訳である様だ、今少し教授法の研究をして欲しい／・第二時限　国語は先週より引續いて古今和歌集解説、独学を進めるためプリントしてはどうかと思ふ／・第三時限ドイツ文学史は明晰な言葉でクライスト人生觀とギョエテ人生觀とを前者は伝記を通じて後者はファウストを通じて専らカント哲学を通じてふれた　面白かつた。／・第四時限　政治史は法妥当論から餓死判事について総説の紹介があつた。とまれかくまれ吾々がここから学び取るものは現代の悲哀哲学である、先生は常識論から断言されたが異論もあらう、法の尊嚴と尊法の為に殉じた点は敬意を表しこの死を無駄にしてはならない、／・第五時限会計学は等価交換と労働価値説について。／・昼食後新村〔猛〕延長の座談会オブザーバーとして牧野及佐々木〔時雄〕先生、テーマはフランス、アメリカ、ソヴェットの芸術性の問題、ブライヴエートな問題だが芸術的関心から淋しくも遠ざかりつゝある自分をどうしようと思ふ、いけない老成の為か、

・第一時限開始前と終了後とに至り生徒会議データーは出席問題で結局再び友好的の交渉なし最後の回答を御願ひする事になつた、荏過日を重ねるよりも今ここに一線を画する事が必要であらう(乱筆謝謝,)／R.Y

58

11th Nov. (Tues.) fain

授業 1, 経済原論／企業の活動, 資産と収益 (特に割引 discount) について／2, 論理学／
外界の事物→示唆→(好奇心 curiosity について)／3, 英語／中級 (The C ^{〔Congress of Industrial Organ〕} I O looks
at “Labor Laws”)／初級

(ソノ他)・新村〔猛〕・久ノ^{〔野〕}〔収〕両先生を囲んで座談会 — 1 年有志昼食×時間／・立命館専
問部文科の生徒 4 名と座談会 — 1・2 年有志昼食時間／(聴講生 (特に語学) として入学をし
たいといふ彼等の希望に関してきいたのみ)

59

12th Nov. 1947 (水)

授業講演第一時 Luther Burbank¹¹⁾ について 栗原佑先生／授業第二時 政治思想史 永井
〔道雄〕先生

※講演 Luther Burbank について雑談をである／アメリカに LuBurbank があらはれてそれ以
後ほに続くものがない／Burbank の家庭, 環境について／ものごとは凡てはつきりとするこ
とが大切であると思ふ 何でもほかしてしまうことが礼儀の様に考えたがるくせが日本人には
ある様に思ふ, 長所であるかも知れぬが短所の方が大であると思ふ, 其の他 Burbank と社会
とを連関して非常に興味深く社現代の社会問題の説明

※永井〔道雄〕先生と試験制度についてインタビュー／先生の案として一石を投じた試験制
度案は結局試験の点数を云々するのではなく勉強の方法として今ではこの方法が適だらうといふ
ことでこの案を提出されたさうでつまり生徒がの問向上とどの程度理解をもつかということ
を教師が知るためにあること, 外に適当な方法があれば試験制度に肯泥する必要はないといふ御
意見である／試験を行ふ様になれば従来の試験制度になる恐れがある, 紙にかいて実力を示す
といふよりも何ら実践によつて行動により示す様ないい方法がないものだろうか, 人文学園の
モットー 思考の人として行動し行動の人として思考するといふ点からも私達はこの方向に進
み得べき何らかの方法をなすべきことを欲する, / Y, O〔奥内ヨシ子か〕記

60

13th Nov (木) C.

授業 第一時 法律学 滝川〔春雄〕先生 (授業内容略ス)／生徒会議 第二時 ①一般報告
②会計報告／③調査報告 ④授業料値上 ⑤スケジュール決定／⑥自治会規約細則決定
うごき, ④番目までは別に曲折はなかつたが授業料値上に関しては種々の問題があつて紆余曲
折があつた。肯定側にも否定側にも色々理論があつてどれが是ともこれが非とも言へない。結

論を言へは授業料値上は止むを得ぬとして現行の2倍に決定した、勿論これらによる決定はお互ひが解決する問題でお互ひに考へあはなければならない、又生徒側の要求も充分検討され是正されなければならない、学園の維持が生徒と教師の両方にあるものとする以上総てが共に協議され審議され徹底的に実施されねばならない、個々の責任に於て、共同の責任に於て、／⑤スケジュールの問題については一応のデーターが提示されたが今一層詳細に審議すべしの意見あつて意見通りに決定した／⑥について 多少の意見あり 訂正(運規上)××された、所感 生徒会議は自治会の最高議決機関としてあるが混同しているものもないでもない、傾向は会を重ねる毎によくなる様であり活潑且慎重になり積極的になった、但し一年生の意見が比較的乏しいのは如何?／とまれかくまれ向上して来た事は喜ばしい / R.Y 記

61

14th Nov (Fr)

※講義 東洋史 殷について(浦西君) 重×北村〔敬直〕先生／日本史 家族国家について藤谷〔俊雄〕先生／中華語 露語

※園長〔新村猛〕を囲んでの座談→昼食時

※感想 人文学園全体の動きが何だか隅の方で泡立ちをしつゝ或る方向へ流れて行かうとしてゐる。その動きが悪いとか何とか言ふのではない。唯我々がもつと真剣に物事を考へる必要があるんじゃないかと言ふ疑問を持つのみだ。／社研の総会を見ても委員会の動きを見ても将又教室へ入つた時に感じる或る印象から言つても、皆そうなのだ。それが何であるかは知る事が出来ないであるが、此の様な感じを持つのは私一人であらうか。／学園の創立趣旨をもう一度再検討して見る事が必要じゃないのだらうかと言ふ奇妙な事を考へるのは私一人であらうか。／つい最近入学して来られた女性の方を除いて最近一年生の女性が欠席する事が多くなつてゐる。始めの間は真面目に毎日来られてゐたために校舎問題も落ち着き出席全体の出席率も増加してゐる時に、女性が欠席する。そこには何等かの理由があるのではないか、そしてその理由の中に男性の事柄が入つてゐるのではないかと思ふ点がある。我々は委員として明るい朗らかな学園にしようとしても出来ない所にその原因を求めて良いのだろうか。／停電の下ローソクの焰を頼りに愚問愚答して見るのだが何れも漠然として何も掴む事が出来ない。／ T.I.

62

15th Nov. (Sta)

※講義 自然科学 原子の構造 牧野先生／国語 古今集 浜田〔敦〕先生／独逸文学 独逸精神 臼井〔竹次郎〕先生／政治学 休講／2時→3時半 読書随想 新村出先生

※感想 自然科学に於ける原子の構造については関心を持つてゐる故面白く聞く事が出来るが、

牧野先生の講義は雑然と素材を与へられてそこに何等の連絡が無い故単なる物識りなる丈で我々の時間、空間の観念と結び付いて思索の好材料となる事が出来ないのは物足りなく思ふ。原子の構造と相対性原理、不確定原理が済めば古典物理学に於ける自然弁証法に教授内容を変更するのが妥当であらう。／独逸文学に於ける独逸精神を社会的に復遣する独逸の意識となし、それで独逸観念論、音楽、抒情詩の時間的なものに見る事が出来ると教へられたのは、我々観念論哲学を学ばんとする者にとっては大いに得る所があつた様に思はれる。／新村出先生の体験談としての読書論は、我々の騒々しい世界に何か妙なゆとりを持たらしめるものがあつた様に思ふ。図書部設立に対する御希望等を聞くと、一学期に於ける図書部設立に関する生徒大会〇〇〔「の時」か〕のあの反対の為の反対を想ひ出し×月曜日より出発せんとする読書会を積極的に参加×××して我々の糧として真面目に発展せしむべき事を×痛感する T.I.

63

17th Nov (Mon) C

※講義 第一限 一般教養 モリエールに就て（主に亭主教育）／第二限 社会学は重松〔俊明〕先生休校病気の為休講／佐々木〔時雄〕先生代講 ロダン及びその作品に就て／第三限 仏、独、華、露、各語学／第四限 エス語

※今迄の吾々は何時でも大きい、そして強い指導者を持つてゐた。／吾々は彼らを尊敬し、彼等に屈従し、彼等に縋てをささげ、彼等を盲目的に報い彼等の大きい強い力の下に吾々のあわれな安息を求めてゐた。／だが、それを云ひ当れば吾々は吾々自身の足で立つてゐなかつたと云うことだ。戦は終つた、敗れたのだ!! 彼等指導者は“きざはし”の上から奈落の底へ転落した、勿論吾々も彼等の下に縋ての×を求めてゐた以上わ当然運命は共であつた。吾々は転落した、いや叩き落された。だが、幸にも吾々がその転落の苦痛に吾々自身を見出すことが出来た、そして吾々は吾々自身の足で地をふまえることを知つたのだ。だが、過去の故の苦痛は現在にものしかかつてゐる、吾々は正に歩き初めた幼光だ、もの伝う為の壁もいらない立ち上がる為の机もいらない、そして歩く為の歩行器もいらない、吾々は両の足を大地にふまえてゐるのだ、,, 而し現実を見る時、吾々は尚その不安から何者かにすがり着こうとする全く悲しむべきことだ。／不安なのは疑いないことだ。だが、吾々はこの不安に負けてよいのだろうか。／不安に負けることは、不安そのものを解決してゐるどころか、不安そのもの、中に飛び込むことで、それで不安が見えなくなつたとしたら、その人は不安そのものの中に入つた為不安が見えなくなつたと云う丈のことだ。／それでは不安をさえ見出してゐない多くの無智な人々と、どこに変る処があるのか。“溺れる者はわらをもつかむ”, 私は決してこの言葉そのものだけで××たとわその様な人を冷笑しようとは思わない。私でも溺れた時にわらでもつかむだらう。そこに吾々が人間であることの悲哀がある。吾々は人間だ、人間で〔次頁に続く〕

64

ある以上決して全智全能であり得ない。悲しいかな、あくまでも吾々は中間者であり、総ての点に於て制約されるものである。くどくどしく書いたが結局要は人間が中間者である以上、人間は何時でも不安を持つてゐると云うことだ。不安の前に戦つてゐる人間、,、広い広い砂漠、大洋の中で嵐にもてあそばれる人々の群を想う、不安に直面した人間、その採るべき道は三つあつて、それ以上はない(私は絶対的な運命論者でわない、だがこれらの道の choice にも choice された道そのものの前途にも吾々の力でわ如何ともすることが出来ないことのあるのを認めるしその結果に於ても全じことか云える)。吾々は総てを疑はなければならない、総てを原子にまで叩き潰さなければならない。その先に、吾々は先づ疑ひを持つ対照^{〔象〕}、叩き潰すべき相手をしつかりと見つけ出さなければならない。その為にわ、××それらを見つけ出す手段を学ばなければならないし、亦疑ひ叩き潰す可き方法^{〔方法〕}をしつかりと身につけねばならない。これらの破壊の為のものは、決して新らしく造り出す可きものゝ為であることを××、否そのであると信ずる。／生活は静止してはゐない、社会は刻々と変化し推移し、即ち動いてゐる。そして、吾々がその中に居ることわ、例え自分で動いてわいなくても結局は動いて居ることになる、だがその動きは決して前えのそれではい。こゝで○先のものとの矛盾を思う。／“不安”それは両極えの可能性を持つてゐる。制約されてゐる人間、時間的にも空間的にも社会的にも性情的にも…。これらのことが人間が中間者であることを立証してゐる。この様に中間者たる人間、その中間者の両極えの可能性は、不安の両極えの可能性と基を一にしてゐる。／私は滅茶苦茶思ひ付くまゝに書いて來た。書き初めは結論が出ると思つてゐたし出す為に書いたのだが、結局これらは解決されさうにない。／“しぶい顔をするなと人は云う”，私は運命論者になりたくない、亦余りにも幅の広い飛躍もできない。K. matsuda〔松田耕三〕

65

18th Nov (tu) C.R

※講義 第一限 経済学 第二限 論理学／第三限 休講(英語 飯沼〔馨〕) 第四限 英語(三島〔泰治〕)

※合同委員会 中食時C教室に於て

これから取上げる可き問題／1、授業料の値上にともなう学生々活安定 2 学園の祭日の決定 3 今期のスケジュールの決定 4 調査活動の徹底 5 大津問題／6 試験制度 7 市川〔亀久弥〕先生の組織的な援助 8 運動部の設定

①授業料の値上に依つて就学出来なくなる人があるか否かを調査してその人に対する援助方法^{〔方法〕}をなる丈早く決定すること／②二年大久保〔一期生で大久保性は大久保二郎、大久保忠三の2名〕さんが大体資料を出して居られるが各部の cap. と相談の結果決定の事／③略決定／④調

査の対照^{〔象〕}は学校に来ない人で急速にそれ等の人が何故学校へ来ないかを調査すること／⑤大津問題についてわ大津問題調査団員の尻をタ、クこと／⑥試験制度に関する資料や意見をまとめて生徒大会に出す／⑦市川先生の生活を援助するのにその法策に就て専門委員を置くこと／⑧自治会の部として運動部の決定 有志者よりの希望に依つて委員会が世話をする
※其他 編入生、聴講生に対する成文化 二年山田〔宏二〕、一年松田〔耕三〕

66

19th Nov (Thu) F

授業 第一時 西洋史 資本主義定義／第二時 政治思想史 休講の為 新村〔猛〕園長／第三時 英語 a sportsmans sketches〔ツルゲーネフ『獵人日記』〕／第四時 仏語、英語(菅〔泰男〕先生) 休講

所感／第二時限政治思想史は永井〔道雄〕先生病気の為休講、連絡良きを得て新村園長臨時授業但し図書館方と山口判事事件、この問題について園長より若干話あり。生徒の感想発表があつた、然し相変わらず1年生の感想藪きは如何なる為か、今ここに取上げて言ふまでもなく夫々の自由な立場に於てこの問題に悩み考へたであらう、これらを思ふ時自分の為として如何に考へ如何に表して行かねばならぬ事を痛切に思ふ、／次に先生の休講の事であるが、休講は面白くない事柄にせよ、夫々現因が生徒に明示されて時前^{〔事〕}に納得いく案はとにかく、吾々の学園の行方を示すものとして喜ばしい、各先生は学校まで来られて釈明されたとか、…それに比して生徒の吾々はどうだろう、これについても一考しなければならない、自由と責任については色々と言はれるが、とに角言はれなくてもそういう風になる自律が持たれたいのだ。 R. Y.

67

20th Nov. (Thus.)

授業 1 数学／初級(幾何学総仕上げ)／2, 法律(滝川〔春雄〕先生の体験を通じてわれわれに与へられた法に対する考へ方)／3, 独,

夏季休暇が終つてあたらしく、ぼくたち1年に編入学された方々7名、それに立命館の方が4・5名 これらの方と入学式当時より在籍してゐるわれわれとの間に何等の意思の疎通といふか、未完成の学園を打樹てようとする、そのこと自体に対する座談会といったものをやる必要がある。菊花女専の方々との座談会も大いにやつて頂きたいが、それと同等の努力、或はそれ以上の努力が内にそゝがれることをも希望する。その座談会に関して少しぼくの opinion を述べると — 入学する前ぼくたちは同志社とか立命とかの学校を受験するのと同じ genuit (氣持) であなかつたことを吾々はもう一度考へて見よう。そして入学した。そして現在に至るその過程に於いて入学当初の約80名は現在約3・40名である。正に半減状態である。この点か

ら見ても、外部からいくら魅力のある学園だと思われても、内に入れば何等変つたところは見られない。つまり、個も学園自体は他の学校と比肩さるべきではないが生徒側は他の生徒と乏しい処はない。そして亦現在学園自体も経済的社会的の制約をうけて居る。crisis といった状態にある。そして大津問題或は試験制度の重要な問題が目前の障碍といった形となつて現はれてゐる。この時数名の方が編入学されたが、出席率は余り芳んばしくない、その原因ははっきりわからぬが、以上のことも関連してゐるのではなからうか。その意味に於て座談会の必要を認めたい〔下線点線箇所は青字〕。

68

21th Nov (F)

授業 1 東洋史 殷について 北村〔敬直〕先生／2 日本史 神話と歴史的事実 藤谷〔敏雄〕先生／3 露語

感想／生徒間の沈滞を反映するのか委員会も低調になつてゐる その責任は僕の1週間の沈滞が直接的に影響が大きいのではないかと思ひ委員諸兄に対して済まない事と思つてゐる／次週から僕は動く、今迄委員会に於て決定された学園自体の問題に／①出欠を委員にて取る ②欠席理由の明確化 ③欠席者の家庭訪問(調査部)／④学園の方針或る×は(試験制、授業内容、等)の検討／上記の諸問題に就いて月曜日より開始する積りだ 委員会とか言つてゐるとそれぞれうるさがる故、僕の信念に基いて先づ動く／だから委員諸兄の援助を待つ 現在の俟12月の任期満了まで居るのなら、生徒会議を開いて総辞職すべきだ／新しきものへの憧れ 僕達の理想を此の学園に見出してお互に学園建設に努力しようではないか 僕達の心の中に生れつゝある新しき芽を延ばしてやらうではないか 委員会は生徒より浮き上つてゐる 委員の中でさへ外へ逃げて行つて無関心になりかけてゐる 成程僕達の勉強を捨てゝ委員で力一杯動く事は出来ないであらうと思ふ 僕にしても前に立つて大声で叫ぶのは嫌だ 而し僕の実践理性は学園そのものの存在価値を知りその建設に努力すべきを命ずる 浮き上つた委員会を現実へ引き降して行きたい／Y.I

69

22th nov. 1947 (Sta)

授業 1, 自然科学／2, 国語／3, ドイツ文学／4, 政治学／5, 会計学 休講

日誌につの記し方についての感想／大抵授業については課目だけを抜書している様であるが日誌の性格としてやはり授業内容については現在の書方よりくわしく述べる方が後日勉学の進歩又は参考のためにもいいのではないでせうか 次に研究会、科外講義の内容等についても摘

要位のものは書く必要があるのではないでせうか、／そして更に日誌担当者が感想として学園の動き又希望等について記するのが適當ではないかと思ひ意見をのべました

70

24th nov. (mon.)

〔授業〕 1, 課外講義 封建的なものについて 北山茂夫先生／2, 社会学（開かれたる社会について——／a. 自己意識←驚き←横超的直線運動／b. 知性の発達←（経験・科学）／3, 独, 仏, 支,

〔其ノ他〕 ・新村〔猛〕園長を囲んで大津問題についてのザ談会（昼食時間）／時間が充分でなかった、め要領を得ず明 25 日にも行はれる予定／・1 年対 2 年の野球試合 11 対 8 で 1 年軍, 惜敗す。／於御所,

〔私見〕／課外講義の“封建的なものについて”の北山〔茂夫〕先生の話は先生の日々の生活よりお話下すったのではくたちの受けた感銘は非常に大きいものであつた。ユーモアといふかフアルスといふか先生より受けたものは何んとしても、停頓してると云はれるほくたちに一途の光明とでもいふべき豊かさと明朗さを感じさせられた。そのお話の中でほく一個人の場合かも知れないが、感動されたのは、先生の一生徒である大阪の心齋橋の呉服やの息子であり、今疎開を田辺にして居られる某君の質問即ち“高等学校を選ぶか或は人の為になることをするか”換言すれば“帝大か人文学園か”の問題ぢやなからうか？ほくたち入学して約 6 ヶ月その過程に於て、今まで考へなかつたことを考へさせられた。そのことが新しい教育学校である大文学園に対して、ほくたちの行動がどれ××必要が即ち、たゞ上級校へ入りたいといふ気持ち以外には余りなかつた。勿論趣意書に対して同意をし、希望を見出したのではあつたが、それは一時的且つ衝動的なものであつたあり、本質的実存的でなかつたことを告白せねばならぬ。それは生活自体を反省する時容易に認め得る。又ほくたちのうけた戦時中の教育をもつともなものとして、ほくたちはいきり立つてゐたし、グループからは特攻隊へと志願したものも居る、そのほくたち否ほくは敗戦後日一日と経つに従つ既成信念は崩壊し、同時にニヒに陥ち入らざるを得なかつた。口や筆にこそニヒとは云へ、現実の事態として直面したれば正に大テイの事ぢやない。から人文学園の教育に対しても疑惑といふか慎重なる態度で考へる必要を感じてゐた。そのことが何時の間にかほくのイニシアチヴを奪ひ去つて了つた、そして“自己沈潜家”となつた。まだそのことがいいのかわるいのかわからぬ。戦時中、最右翼を自称した青年が戦後直ちに左翼に走る。ほくの学外の周辺にも、1 人や 2 人ぢやない。ほくはこのことが一番恐ろしいのだ。そして知らぬ間にほくは悲壮じみた冷い人間になつてゐる。だが“豊かな人間性に接するとき涙ぐみたい程嬉しくなる”といふことだけは言ひ切れる。北山先生のお話が“この告白を敢へて云はしめざるを得なかつた”といふにすぎない。不悪私情

71

25th nov. (tu)

(授業) 第一限 経済学 第二限 論理学 (昼間) 課外講義 近藤忠義¹²⁾ / 第四限 英語 (飯沼〔馨〕) 第五限 英語 (三島〔泰治〕)

(私見) 課外講義 近藤忠義氏 (文学に就て) / 生きる為の文学 働くものゝ文学 これを平安朝に於るそれと奈良朝に於るそれとに於て比較された、吾々はともすれば文学を実生活より離れたもの、文学の為の文学、言葉の為の文学と考え易い、全く夫もの云われる様にそんなものは文学とは云えまい、勿論文学である以上芸術である、芸術である以上美を追求する、平安調文学にも美を見出す、だがこれは^{〔魔退〕}ハイタイの美であり形式の美であり減び行く美である / 文学は吾々人間のものである人間は常に生きなければならない、／生きるとは発展であり生長である、生きてゐる、否生きなければならない人間が唯ハイタイの美にのみあこがれてゐてそこから本当の生長なり、発展なりが得られるであらうか、／古今集にある総ての歌は形式的である、形式の美、言葉のあやの美のみを追求してゐる、そこには何ものも生み出されない、／吾々は以上のことをハッキリと知らなければならない、もっと生活の為の文学、文学自身が生きる為のものでなければならない、そこに初めて新しい文学も興り、新しい生活も生れる、(k.m)

72

26th Nov. (thu) G

授業 第一時限 西洋史 自由主義概論 / 第二時限 政治思想史 ホッブスの英国契約国家論 / 第三時限 英語 (初級) ^{〔Sportsman's〕} sportsmanship skeches / 第四時限 英語 (上級) Eureka

所感 委員の問題が色々の立場が論ぜられる様になつた事実言はれる所はあるが沈滞する原因は何であらうか、徒らに騒ぐ事のみが委員の仕事でもなければ動かないのも仕事ではない、何も彼もといつてそれを委員の仕事にするのは考へるべきだ、結局誰も彼も共に動く様にしなければならない、独りよがりな奉仕観念やヴァニテイは排すべく凡てが全体的になる様 (ファツシヨじゃない) 美しい、種々の部面に互に委員など引込んで生徒 (委員外) 諸君の手に委ねる事が多い、苟めにも名声やプライドを得る夢など委員の考へるべき事でない、或程度情熱も抑制して然るべきだ、委員が動けば動かない事を考へるべきだ、一番難しいのは自らが行ふことでなくして凡ての諸君に喜んで協力して貰ふことなのである、強制者もなく奉仕者もなく只よき助言者であり度いのだ (R, Y)

73

27th Nov (木)

講義 I 数学 練習問題 吉田〔九州穂か〕先生 / II 法律学 刑法、未遂について 滝川

〔春雄〕先生／Ⅲ 独逸語 説話法の動詞 臼井〔竹次郎〕先生

大津問題座談会 午後の休息時間に新村〔猛〕先生を囲んで／1 大津へ全部移るか 2 2本立てで続行するか（本校を分校として）／3 本校は独自で継続するか／の3つであり現在生徒がやるべき事柄は本校の経済的苦境を如何にして乗り切るか来年の生徒募集に關しての具体策を真驗に考ふべき事だと結論が出た その為に資格問題、授業内容の改善等々が出て来る、委員としてはそれ等の問題を生徒と共に考へる事が必要であらう、

感想 学校自体の浮沈の問題が提出されてゐるのに案外無関心の人達が多いそれ等の人達に学校の実情を公表して我々の手で此の学校を創つて行く様に努力せねばならない 単に1部の人達の独断ではなくして全生徒の意志として、その為に委員会は活潑に動かねばならない（Y.I.）生徒の主体性の確立の問題と共にそれ等は充分考へられねばならない 何故なら我々の一生を左右する問題であるから、／それには先づ生徒の各人一人一人が自分の考へを述べる様にせねばならないし、それには現在の暗い所を明るく朗らかにする必要がある 人間は雰囲気気持ちを左右され易いしまして我々の様なパツシブな若き友輩は猶そうなのだから、我々の心の中にあるものをぶちまけて笑へる様にしなくては、石井

76〔ママ、74～75なし〕

28th Nov. (F) F.

講義 I 東洋史 殷の社会的政治的變遷 北村〔敬直〕教授／II 日本史 万葉集と奈良時代 藤谷〔俊雄〕教授／III 露語／華語

生徒委員会 現在為すべき問題について／沈滞せる1年生×現状を明るくする必要が第1に取り上げられねばならない／その暗い原因として、次の如き事柄が考へられる

1 大津問題 2 資格 3 学園教育方針の未知 4 生徒の不満が心の中で押さへられてゐる事、5 友達が出来ない 6 自己認識の不明／数へれば多くあるが大体上記の様なものであらう之に対して委員会の第一歩として ①新入生との懇談 ②全生徒の座談 ③在籍生徒の中、委員会からの通知に対して返事のあつた人達に対してもう一度葉書を出し他の一度も顔を見せず授業料を払込んで居ない人達を一応お預けにして来学期に延期する ④学園自体の今後の検討（大津）等を決す

感想 総ての事柄が財政に帰せられる学園の現状に我々生徒として如何に学園を維持するかが課せられた大きな問題だ。／理想を言へばボロニヤ式になれば良いであらう。だが生徒側の現状は社会一般と同じく窮迫してゐるし、援助者も又然り、此処に大津問題と言ふ学園創立当時予想もしない事が生まれて来た、教授側は大体肯定をしている現在、我々は今の学園を移転せしめるか否かの問に答へねばならない。その結論によつて我々のこれからの行動は決せられて来る。1, 2回のみで人文学園が終止するとすれば多くの問題が生まれて来る、それを我々生徒

全体の意志によつて検討して行かねばならないだらう。

77

29th Nov. (Sat) F. and R. / 授業 1 自然科学 休講 / 2 国語 / 3 政治史 休講 / 4 独文学史 / 5 会計学 / ソノ他 L2 時—后 2 時 ザダン会 1 年のみ

そのザダン^(座談)会に於て佐々木〔時雄〕先生も指摘して居られた様に休講が多い。／その休講についてぼくは単純に考へてゐたが、ああ云はれてみると肯定しないわけにもゆかずそして中々 delicate なものであることをも共鳴しないでは居られない。学園自体の Stand or fall は財政の面に於てではなく、ぼくたちと先生方の学園をきづかんとする弛みない努力に一切がかかつてゐると言明された。何んと悲壮なことであらう。

78

1 Dec. (Mon) 1947

授業 1. 一般教養 / 2. 社会学 / 3. エスペラント語

二年に比して此頃一年生の出席率の良好は誠に嬉しいことだと思ひます。先日のザダン^(座談)会はある意味において効果があった。／試験制度に代る適当な方法として研究会のことが述べられたがこれは従来^(座談)の試験に比して各自の意見の交流、その反応等又発言の訓練、いろんな点で勉学の実力は効果的であると思ふ。／この様な会における意思表示こそ久野〔収〕先生のいはれる思想の訓練の最高の機会であるといへるでせう。

79

2th Dec(Tu) C.

授業 / 1. 経済 経済原論 循環の構造 / 2. 論理 思想と素質 / 3. 英語 中級 Readers' Digest / 4. ク 初級 Sportsman〔〕s Skeches

感想 午前中に比して午後の出席は非常に悪くなっている。学課の好嫌と学園の建設の問題は暫らくおくとしても割り切れぬものがある。勿論責は生徒自身にある。積極的に好きにする様出来る事なのだから。学課の軽重は勿論言を俟たない。／批判は出来ても実行が出来ない吾々は何とした事か。物言ふことのみ上手になった偏見的市民になる事は何としても避けねばならぬ。／実践学科の設置は且て新村〔猛〕園長の口約した事であるが、／資格の問題よりも実践可能の人たる事を吾々はより以上切望しなければならない。考へるべきだ。如何なる意味に於ても。／ R. Y.

80

3th Dec. Wedn. F

授業／ 1. 西洋史 近代自由主義思想に就て／ 2. 政治思想史 ホッブスの契約国家論／ 3. 英語 初級／ 4. ー々ー 上級

感想。学園の将来に就て。／学園新聞“水曜日”の Insistance 欄に記されてある様に学園の前途は、暗たんたるものである。否現状はそれさえもしっかりと把握されてさえない。佐々木〔時雄〕先生は生徒が出席することこそ、学園を継続させる最大のものと云はれる。私はこれは全く正しいと思う。だが“最大のものである”と云うことにだ。然し、最大、最強力のものが総てとは云えない。問題は未来のことである。未来のことであるから久の〔収〕^{〔野〕}さん言ではないが正確な推測である。推測の為には、現在の総てのことを明かにしなければならない。少々空論めいたがこれを実際に当はめてみると、学園の財政を明かにしなければならない。園長は吾々に対する老婆心から現状並に資金獲得の見込等明かに示されない。此所に於て今後生徒の学園に於る限界を先ず明にしなければならない。勿論生徒自主とは云はれてゐるが実際にはそうではない。と云うのは経済面に於て協力者と云うが如き立場であるからである。結論はこうである。／(生徒出席は云はでものことである) 学園の経済的見透しの把握、根本的な生徒の限界の明確である。

81

4th Dec. 1947

授業 1. 法律

生徒大会 11 時四十分より

議題／ 1. 一般報告／ 2. 大津問題報告／ 3. 試験制度検討／ 4. 聴講生制度検討 時間の都合にて無

試験制度につき、

A. 自由レポート制。(制度としてのレポートに反対)。／出席面に影響するため。又自発的にレポートの提出を機待し確信してのこと。／試験制度は究極の目的として暗記の訓練に外ならぬ。^{〔野〕}

B. レポート提出制度。／自己の成長の発展のルートとしてレポート制を取る。／制度とすれば教師は提出レポート検閲の義務を負ふ。／教師と生徒の再認識と確認識を強めまたそれらを利用して教授内容への改善と進展のため又生徒各自の強制を伴ふ学問への向上の確立を目指すため。

C. レポート提出を原則とする。

結果／自由レポート制賛成 23 名／提出制度 18 名

かくて自由レポート制度とす。

82

5th Dec (F) F

講義^(義)I 東洋史 西周に就いて／II 日本史／III 華語

研究会 自然科学研究会 北極星とピラミッド(ホワベン, 市民の科学)／青年共産同盟 ダ
ンス練習

感想／試験問題も昨日の生徒大会で自由レポート制に決定した。之では或一部の生徒のみがど
んどん専門的に深入りするのみで生徒全体の實力の事を考へると僕個人にとって見ても不安だ。
何らかの方法によって全部が歩調を合はせる試みが行なはれねば實力上の脱落者が出て来はし
ないだらうかと現在の学園の姿を見て痛切に感ずる。それに対して何らの具体策は思ひ浮ばな
いが結局、課目単位によく通じてゐる人を調べてその人達为中心になり出来る丈全生徒にレ
ポートを提出させる様な援助を与へるより他に方法がないのではないか。良い具体策あらば教
へて戴きたい。／一年生にも“水曜日”に暴露せられた様に二つの意識的な対立がある。之は
反発を感じる人達が進歩を以て任じてゐる人達の後ろにあるものをよく理解してゐない事もそ
の一因だが、問題は、一番進歩的であつて全生徒の中にあるべき人達が全体より離れてゐて唯
我独尊の世界から生徒を批判した所にある。現在も何だか離れて、なかなか活潑だがその事自
身がまだまだ反省さるべき余地を持つと同時に他の人達も人間よりも理論の検討を通じて理解
する様にせねばならない。

83

6th Dec [St] F

授業 第一時限 自然科学 電気概論／第二時限 クルーベ論 佐々木トキラ^(時雄)／第三時限 文
学史 クライストに就いて／第四時限 政治史／第五時限 会計学

感想／此の日記を書く事自身は私自身に裨益するものがあるだらう。だがそれは何だろう。と
に角“私は書く”ことにする。／我々はこの学園に何を期待するか。よき市民か、よき社会を
か。(〇〇)／努力する事は希ましい。自覚しつつ、学びつつ。然し反省があまりにもなさすぎ
る。出来ないならば寧ろ沈黙を守るべし。／試験問題 結局落着く所に落着いたと言ふべきだ
らう。是非を論ずる事はより以上困難なるが故に斯く言ふのだ。相共に向上せんとする理想が
相共に論ぜられこの結論を得たとすれば(それでいいとする故に)最良の方法と見るべきだ。
重荷である今日のこの日記は渋滞、渋滞。／分らなくても仕方がない。／R. Y.

84

8th Dec (M) F

授業 第一時限 (社会学休講) / 第二時限 ^[Shakespeare]Shakespear について 菅 [泰男] 氏 / 第三時限
華語 / 第四時限 Esperanto

感想

午前中菅 [泰男] 氏の ^[Shakespeare]Shakespear 論があった。大変面白く有益であった。特に英国史の
Elizabeth 王朝については得る所があった。又 ^[Shakespeare]Shakespear についても更めて見直し考へ直し
た事だ。次に午後の授業の問題だが第四時の終了は5時になるが冬季に向ふに連れて必然的に
受講が尠くなる。何とか善處出来ないものか。 / (勿論熱心不熱心の問題もあるけれど) / R. Y.

85

9th Dec (Tu)

講義 [義] 1 経済学 / 2 論理学 / 3 英語 (菅 [泰男]) / 4 英語 (三島 [泰治]) 休講
その他 青共 ダンス, レッスン

感想 学校へ来るのが面白くないとの声を身近の人々から耳にする毎に僕の気持迄が減入って
くる。何故だらう。 / その原因を次の如く考へて見るのだが? / 1. 総体的に見て“自分”と言
ふものを見る事ができる人達が多い / 2. 二つに分裂した級内の雰囲気相互に反発し合ふ /
3. 自分の中味を前へ引張り出す事の出来ない仮面の世界 / 4. 若さの自覚がニヒにカバーされ
てゐる→暗い顔 / 5. 過去からの連続的な欠陥が否定されてゐない→逆も又そうだ / 等々細か
い事を考へると幾らでも考へられる様に思ふ。 / 根本的な事柄は各人各様の解釈が学園の方針
に対して為され、それ等の共通性や一般性が自覚されずに模索されてゐる所にあるのではない
かと思ふのだが? / その事から帰結される事は僕達がお互に駄弁る機会を作り出す必要を認め
て感情を交へず / 新しき人間への第一歩であり民主主義的な人間への入門とも言はるべきレト
リックの精神を養はれる様に方向付ける事であらうと思ふ。

86

10th Dec (Wen)

1 西洋史 自由主義について / 2 政治思想史 ^[John]Jone Locke の政治思想 / 3 英語獵人日記
その他 社研 座談会

感想 学園新聞“水曜日”第三号が発行された。 / その中に書かれてある事柄は大体に於て悲
観的な観測が有力だ。^[しかし]而し考へて見ると僕達の過去の生活より現在の日常を考へて見ると非常
な変化を見る事が出来るのではないだらうか。勿論“小さな事柄”を無視して人間の変化は考
へられないとは言ひ得るが、而しそれがやはり慣習を全面的に転換出来ない所に原因を求めら

れねばならない。僕も煙管で机の上に火を叩き出し周囲を“きざみ”の粉が一杯で契煙しない人達から眉をひそめられる時が往々ある。だけど一度は業が付いても元通りになってしまうのが常なのだ。それを幾度も注意され自分も常に意識するまでには時間が必要だ。僕達委員の怠慢さも言はるべきだが気が付いたらどしどし委員を通じるなり自分丈でも良い実行して行く主体性のある人間へ生徒全体の意欲が無くては学園自体までもが疑がはれる様な結果になつてしまふのだ。

87

11th Dec. 1947

授業 第一時限 数学 上級 天文学について／下級 〃 ／第二時限 法律 犯罪について
研究会 青共 青年のための世界歴史テキスト 封建制について

前者の記と同様、“水曜日”の記事をよむで学園の動向が明瞭にされてをり大体において悲観的であるといつてよいと思ふ。それは研究会等をとつても集合する人は10人余りで何時も顔ぶれは決まっている。これを分析してみると1, 研究会の性質に疑惑をもつ人 2 全然無関心の人 3, 時間的余裕のない人に分れるのではでせうか。この学園の教育はパンフレット式教育だといふ声も暫々耳にする。その打開の道として同じ目的をもつような人達が集つて研究し発表することの重要さは誰しも認めていることとせう。そうすれば自分勝手にすればよいではないかそんなことは面倒くさいといはれる人もあるとせう。しかしよく出来る人興味のある人はそれでいいとせうがそれでは学園の存在の意味は少しもない。そして今何かやつている人は問題外として何にも属さずに真面目に勉強している人達かういふ人達が何にもやらないといふところに放置することの出来ぬこの学園の危機があるといふことである。みんなが何もわだかまりをもたずにたのしく勉強できるフンイキにすることが最大の急務であることを痛感する。それは以前真面目に出席していた人々が出足がにぶって来たことでも分る。／しかしこの学園においてかやうな研究団体が学園を分裂させていく様な結果になりはしないだらうかといふやうな不安もあるのである。／要するに客観的に把握して行動していくことが最も肝心なのである。

しかし日常の些細なことが意識的に過去はあゝであった、だから今もさうであらうといふ観念があまりに支配していることにおどろくことが暫々あるのである。／Y. O. [奥内ヨシ子か]

88

12th Dec. (Fri)

授業 第一限 東洋史 殷周革命に就いて／第二限 日本史 公地制崩壊の原因としての仏教
／第三限 中国語、ロシヤ語

最近学園の“fall”と云うことがこの日誌の上にも雑談の間にも叫ばれてゐる。私も本当にその様なことをひしひしと身に感ずる。私はその原因について感えました。而しハッキリしたことは解りませんでした。今も判つてゐません。／学園の三月危機が叫ばれてゐます。このまゝ、行けば時期はともかくとしてその来ることは間違いないことゝ思います。私達はこの危機を乗り越えなければなりません。その為には何事かを為さなければなりません。私達は何を為せばよいのでせうか？先日もだれかゝ書かれた様に“fall”を恐れる許りでは何もなりません。学園の目指す道はそう簡単に Stand and stand でないことは自明のことです。だが吾々は何を為ればよいのでせう。問題の基礎はあくまで個人であることには間違いありません。「個人々々が自己を生かし且伸すことが学園を伸すことである」とはよく云われてゐることです。だがそれだけでは吾々の学園が吾々一人一人と共に豊にしておくことが出来るのでせうか？

89

19th Dec. 1947

第一時限 数学 ホグベン 涙なしのユークリッド幾何学／第二時限 法律 犯罪 etc／第三時限 英語 good stories

所感① 委員として／過去二月生徒委員として何をしたかと反省して見る時全く無責任であつた。何をなすべきか。この事は自分なりに考へてはいたのだが、結局委員の仕事は表面に表れる事とか目覚しい発表でもしないと、それなりに幾分かは好かれと願ひ意見を述べ努力した事を自らの慰めとする。／②学園新聞“水曜日”について／多少公憤のあまり攻撃し過ぎた嫌ひがある。然ししてよいといふ悪い事一つもない。又して悪いといふ良いことは一つもないからその価値は自分とても認める。要は価値の問題である。面白い文でも不可ない。代用品であつても不可ない。今後の精進を希み度い。／③市川〔亀久弥〕先生のこと／学園の建設に真摯な情熱を傾けて倒れた先生は我々一年生にとっては関係がうすいが不幸のあへぎの中に突込んだまゝに知らぬ顔にほつて置く事は許されぬことである。この事は先生達にも考へて欲しいことだ。勿論共に現実生活の苦しみは言ふべくもない。併しより以上な同志への助力はされるべきだ。／こんなつまらん事を書いて責任をのがれようとする卑怯を自分乍ら憐れと思ふ。けれど自分では何とも出来得なかつた。自分の無力が今後この学園で磨かれん事を期しつゝ。／ R. Y.

90

1月13日(火)

1. 経済学 3. 英語(菅〔泰男〕)／2. 論理学 4. 英語(三島〔泰治〕)

生徒大会 p.m. 0時～p.m. 1時／議長 余〔廷壽〕 出席人員 27名

議題／1. 一般報告(松田〔耕三〕委員長)／2. 委員改選ニ関スル件(委員会提案)／以上2提案ヲ原案通り万場一致ニテ可決／委員改選ヲ行ツタ所次ノ新委員ガ決定サレタ／(委員長)藤本〔文彦〕(委員)儀我〔正三郎〕, 中村, 川盛, 大井〔正三〕, 仲原／(調査)余〔廷壽〕, 松田〔耕三〕(会計)石井, 奥内〔ヨシ子〕／「前委員ノ慰勞ト新委員ゲキレイノタメニ拍手ヲ」トノ議長ヨリノ提案ガアリ万場拍手ノ中ニ閉会トナツタ。

所感／新入生ヲ迎エル問題又ソレニカランデ教室ノ問題, ソシテ全学園ノ問題トナツテイル“僕ノウレイ”ヲドウシテ解決スルカ等々大キナ問題ガ今吾々ノ目ノ前ニ横ツテイルトキ委員ニ選出サレタ吾々ワ大キナ責任ヲ感ジル。今後ノ委員ワ僕ヲ始メニューフェイスガ殆ドナノデ何カシラ新鮮味ガアツテ好イノデワナイカト思ウケレド又一抹ノ不安ヲモモツテイル。／自分トシテウマダ“何ヲナスベキカ”ガハッキリトシテイナイノダケレドドンナコトデワイ、カラ出来ルコトカラヤツテ見ヨウト思ツテイル。／生徒諸君ト結ビツイテイナイ委員会ナンテ凡ソナンセンサダ。／生徒諸君ノ一層ノ協力ヲ望ンデイル。／F.F.〔藤本文彦か〕

91

1月14日(水)

1. 西洋史 — 名誉革命／2. 政治思想史 — 大陸ニ於ケル自然法思想／3. 英語
第1回合同委員会／ギダイ／1. 下ノ対策／2. 入試対策／3. 掃除ノ徹底／4. スケジュールノ決定／5. 学課目ノ決定(来年度ノ)／6. 出席ノ増加／7. 生徒大会開戴ノ件／8. 授業料値上げノ件 — 保留／ケツギジコウ／1. 下ノ対策ワ重大ナ又焦眉ノ問題デアル。吾々トシテワ各戸ニ住居ヲアッセンシテ出テモラウコト, 対策委員ト協議スル。／2. 入試ニワ入試委員ヲ選出方法ワ委員会ニテ指名。／構成, 宣伝部4名, シンサ部6名。／コレワ生徒大会ニ提出スル。／3. 掃除ワ2年1年合同ニテ全区域ニワタツテ行ウ。／4. スケジュールワ2月12日西洋名画展見学, 同模写展ヲ2月上旬開ク予定。／責任者ワギガ〔儀峨正三郎〕君。3月下旬学園祭ヲヤル予定。／5. 来年度ノ学課目ワ1, 2年別々ニ決定スルコト。／6. 出席調査ノタメ氏名明記ノ与論調査ヲ行ウ。／7. 生徒大会ワ3学期ノスケジュール決定後直ニ開ク。

92

1月15日(木)

1. 数学／2. 法律(1, 2学年合同) 自由主義刑法ノ發達史／3. 新村〔猛〕園長ヲ囲ンデ座談会“読書ニツイテ”／4. ドイツ語
(カンガエ)／刑法ニ於ケル自由主義ワ中世カラ近世エノ社会ノ發展ニ応ジテルソー, モンテスキューノ啓蒙思想ト結ビツキ中世ノ宗教裁判ノ如キ神ノ權威ニ絶対服従スルコトニ反対シ「刑法ワ犯罪カラ社会ヲ保護スルト共ニ犯罪ヲモ保護スルモノデアル」ト云ウ観点カラ

Feuerbach ヲ始メトシテ展開セラレテ来タ。／一度目ヲ日本ニ転ジテ見ヨウ。／日本ノ裁判所ノ暗サワドウダ。又アノ被告席を見下シタ裁判官席ワドウダ。ソレワ中世ノ神ノ權威ニ反対シタ、ガリレオヤコペルニクスヲ裁イタ様ニ日本ノ裁判所ワ天皇ノ權威ニ反対シタ自由主ギ者ヤ、資本ノ独占ニ反対シタ社会主ギ者ヲ裁イタノダ。／今日民主政党ヤ民主団体ニ於テ法廷ノ民主化ガ叫バレテイルノモ当然ノコトデアル。／中世的ナ封建的ナモノワ民主化サレルデアロウシ又シナケレバナラナイ。

93

1月16日(金) 雪後晴

授業 1. 東洋史—春秋戦国時代／2. 日本史—戦後ニ於ケル歴史学界ノ動向／午後. ドイツ語, 支那語

行事 ○社研総会 ○自然科学研究会／○委員会 出席者 藤本〔文彦〕, 儀我〔正三郎〕, 大井, 中原／1. 分担ノ決定／掃除川盛, スケジュール中原, 事務連絡儀我／授業内容ノ決定ワ全委員コレニ当ル／2. 委員ノ決定／アクマデ民主的ニ行ウガ事務的ナコトワアル或〔程〕度強制ニナルモ止ムヲ得ズ／3. 欠席者ニ対スル対策／新学年ヲ機械ニ整理スル必要ガアルノデワナイカ／生徒諸君ノ学問ニ対スル自主性ヲ高メルコトガ必要デアル

所感 戦後ニ於ケル日本ノ歴史学界ニワ2ツノ潮流ガアル。1 ツワ大塚史学ヲ中心トスル“アカデミック”ナ学者。ソレニ対シテ人民ノ立場ニ立ッテ歴史ヲ研究シヨウトスル流れ。ソレワ羽仁五郎氏等ガ代表シテイル。学問ノ階級性ヲ否定シ中立デアリ「人民ノタメニスル」歴史学ヲ否定シヨウトスル「アカデミズム」ノ先生達ノ「学問ノタメニスル」「立身出世ノタメニスル」「パンノタメニスル」歴史学ガ主観的ニワドウデアレ客観的ニワイカニ「支配階級ノタメニスル」歴史学デアルコトカ！社会ガ階級社会デアル限り学問ノ階級性ヲ否定スルコトワ出来ナイ。トスレバ吾々ワイカナル立場ヲトラネバナラナイカ？ソシテ又吾々ノ学問ワ「誰ノタメニスル」学問デナケレバナラナイカ？藤谷〔俊雄〕氏ノ今日ノ講義ワ単ニ歴史学ダケノ問題デワナク現在勉強シツツアル吾々ニ大キナ問題ヲ提起サレタモノダト思フ。／F.

94

1月17日(土)

1. 自然科学／2. 国語 古今和歌集／3. ドイツ文学史 トーマス・マンについて／4. 政治, 会計学 休講

所感／・「毎日ヲ未来ノタメニ生活シテワナラナイ。止ムニ止マレヌ要求ノタメニ日々ヲ送ラネバ〔ナラ〕ナイ」コレワ久野〔収〕先生ガ牧野先生ニ云ワレタ言葉ダソウダ。確カニコレワ真理ヲ含ンデイル。止ムニ止マレヌ要求ノタメニ日々ヲ生活スルコトガ即チ未来ノタメニ

ナル人々ニトッテワ。シカシソウデナイ人々が社会ニワ多イト云ウコトモ忘レテナラナイ。
／ソシテ又吾々モ早ク前者ノ部類ニ入ルタメニ努力シヨウ。パンヲ得ルタメニ勉強スルノデワ
ナクテ毎日ノ学問ニ対スル欲望ノタメニ勉強出来ル様ナ者ニナロウ。／・“ショーペンハウエル”，“ニイチェ”，“ワグナー” ガドーマス・マンノ文学ノ土台ヲナシテイル。ドイツ観念論ノ
主流カラワ逸脱シタショーペンハウエルノ哲学ヲ基礎トスルトーマス・マンノ文学ニ健全性ガ
ナイコトヲ疑イ得ナイデアロウ。／芸術家ニワ inspiration ワ不要デアリ必要ナモノワ hand,
work, デアルト云ウ彼ノ芸術家観モ，芸術家ワ生ノ敗北者デアリ生キル者トシテノ価値ヲ持タ
ナイガ故ニ仕事ニ熱中スルト云ウ考エ方カラ出テイルトスレバドウカト思ワレル。／シカシナ
ガラ臼井〔竹次郎〕先生ノ聞ク者ヲシテ恍惚トシテ小説ノ中エ引キ入レル話術ニワ敬意ヲ表シ
テ置コウ。／F.

95

1月19日(月曜日)

①一般教養(新村〔猛〕) “東條ノ態度ニ対スル拍手ノ批判ヨリ始メテ…”／②社会学休講，
佐々木〔時雄〕先生ノ代講／“哀レナル乙女ノ話ト近代機関文明ノ発展ト医学ノ発達トノ相關
関係ニツイテ”／午後 ドイツ語・支那語・エスペラント語
合同委員会開催／明日ノ生徒文〔「対」の誤記消し残シカ〕大会ニ対スル対策／入試委員ノ銓
衡／(S. Giga〔儀峨正三郎〕)

1月20日(火曜日)

①経済学(青山〔秀夫〕)／②論理学(久野〔収〕)／午後 飯沼〔馨〕英語・三島〔泰治〕英語
ハ休講。
生徒大会(正午ヨリ一時半頃マデ)／1. 入試委員会ノ設置問題／決議事項 a. 平行機関トス
ルコト／b. 入選ハ合同委員会ニ一任／2. 「下ヘノ対策委員会」ノ経過報告及ビ今后ノ方針ニ
ツイテ
合同委員会ノ準備不十分ノ為議事進行拙劣ヲ極メタルハイカンデアリマス。／(S. Giga〔儀峨正
三郎〕)

96

1月24日(土曜日)

1. 自然科学／2. 小久保

午後 ドイツ文学史。／政治学。／会計学。

(カンガエ)／会計学ワ相変ラズ出席者ガ少イノワドウシタコトダラウ。／講義^(義)ソノモノノ難解

サカラダローカ？／働クコトト勉強スルコトノ統一ヲ痛感シテイルハズ（ソノ一例ガ資格問題
ナノダガ）ナノダガ結果ニ於テソレヲ否定シテイルヨウナ行動ヲトッテイル。／職業教育ワコ
ノヨウナ資格ノナイ学校ニ於テ殊ニ重要ナモノダガソレガ会計学ダケトワ心細イ気モスル。／
女性ノタメノ課目ナドヲモットモット採用スベキデワナイダローカ？

97

1月23日（金）晴

1. 東洋史／2. 日本史

・一昨〔日〕21日は世界の偉大な指導者レーニンの死んだ日にあたる。／“民主的とは人民の
多数の利益を考えることで少数の利益を考えることではない”（レーニン）

1月24日（土）雨

1. 自然科学休講／2. 国語／3. 文学史／4. 政治学 国家権力について／5. 会計学

・自然科学の休講が続く！これが佐々木〔時雄〕先生の云はれる悪^{〔循環〕}ジュンカンなのかも知れな
い。／政治も出席者の顔振れが大体決ってしまっている。／アチ的だからと出ない人が多い様だ
がそれはアカデミー崇拜の名残りではないか？／サロンのな雰囲気から抜けだしてもっともっ
とたくましくならなければならない。

98

1月26日（月）晴

2. 社会学／1. 一般教養

・人文学園は他の学校よりも新しいと云はれている。しかし自分達の中で女友達、男友達と手
を組んで京極を闊歩するもの又アイサツに握手するものが幾人あるだらうか？／吾々自身の中
の封建性も社会の封建制と闘うと同様に闘はねばならない。／腕を組んで歩こう！握手をしよ
う！

1月27日（火）晴

1. 経済／2. 哲学／3. 英語／4. 英語

・火曜日には何時も出席者が多い。そんなに久野〔収〕先生のプラグマチズムに魅力があるの
だらうか？／電車の中で西田哲学の本をわからないくせに読んでいれば一角の哲学者になれる
と思っているインテリ連中の心理と同じものではなければ幸だが。

99

1月28日(水)曇

I. 東洋史／II. 討論会 吾々の教育について／III. 西洋の近代絵画について 前川〔貞次郎〕氏
2月9日の西洋近代美術展鑑賞の予備知識として3高の前川〔貞次郎〕教授の講演を聞く。／
純美学的な立場から話された氏の講演に何かしらあき足らぬものを感じる。

1月29日(木)

1. 数学／2. 法律 旧憲法について

・旧憲法の天皇不可侵を聞いて皆笑ったけれどもそんなナンセンスな事を本当に自分達は信じて来たのだ。／そして幾多の兄弟がそのためのギセイとなった事だらう。／今更の様に教育の偉大さを痛感する。

102

1月30日(金)晴

1. 東洋史／2. 日本史 河上肇について／河上肇¹³⁾記念追悼会 於京大。

偉大な解放運動の先覚者河上博士が死なれてから2年になる。／“共産主義にかぶれるのは青年の一時の感情からだ」と反動主義者どもは非難するが私は始めブルジョア経済学者そして次に宗教を信じ更に共産主義者になったのだ。決して共産主義者は一時の情熱でなるものではない。／正直に生きようとすればする程ますます共産主義者にならざるを得ない。と氏は有名な著書“第二貧乏物語”の中でジュッカイ〔義〕されている様に博士は一步一步と正しいものを求めて生きられたのだ。／人格的にも理論的にも(少しはゴベウ〔誤謬〕もあった様だが)完成したコミニストと云はれる中の一人であらう。／吾々は博士の様な偉大な人物を出した事を喜ぶと共に博士を民主革命の終りを知らずに殺した天皇制政府に対してイキドウリ〔憤り〕を感じるものである。／民主革命の遂行途上にあつて吾々は博士を乗り越えて前進しなければならない。 F.

103

1月31日(土)晴

1. 自然科学／2. 国語／3. 文学史／政治 会計, 休講

・河上肇博士追悼記念人民大会 新聞会館。講 共産党／宮本賢治〔宮本顕治¹⁴⁾〕, 実川実〔宮川実¹⁵⁾〕, 堀江英一¹⁶⁾氏等の講演

2月2日(月)雨

1. 教養／2. 社会

・去年の2月1日は2, 1ゼネストでやかましかった。今年は去年に較べると反動攻勢が強くなったと云はれている。／“反動の力の強くなった時はそれだけ民主勢力の強くなった事だ。と誰かゝ云った様な気がする。／誰も云はなければ僕の云った事にして置こう。

104

2月3日(火) 雪

1. 経済／2. 哲学

2月4日(水) 曇

1. 政治思想史 カント／2. 西洋史

・今日は節分、昔なら“鬼は外、福は内”の声と共に豆播く音がいさましく聞こえてきたものだが、今日では一軒として豆まき何てやっている所がない。まく豆があれば—と云いたような頭顔ばかりだ。／今年の豆まきは“ファッシュズム追出し、民主革命遂行”と叫ばねばならぬ。いだらう。／1日も早く封建性は追い出さねばならぬ。

105

2月5日(木) 晴

1. 数学／2. 法律 新憲法について

・形式的には人民主権をうたわれてはいるが、その成立過程を見る時やはり上からの憲法である事には間違いがない。／成立の裏面史を聞く時自分は政府の腰の弱さ、デタラメ振りに「憤慨」フンガイせざるを得ない。／日本の事は日本の人民の手で処理出来る様にならねば独立も何もあやふいものになってしまう。

2月6日(金) 晴

1. 入試委員会／2. 日本史 清水光雄〔清水三男¹⁷⁾か〕氏について

・入試委員会が経営、学園の本質を討^(議)ぎするのはいくら関連性があるからと云っても少しおかしいのではないだらうか?／学校側の入試に対する確定がない事もおかしい事だ。／現状の改革も大切だが入試も重要である事をお忘れなく。

118

2月9日 月

西洋美術展見学 於大阪美術館／見学者 新村〔猛〕園長、佐々木〔時雄〕先生、外38名

2月10日 火

1. 経済／2. 論理

火曜日は、出席率高調なるに、本日は、意外な程少数なり。／出席者減少する毎に、その理由の把握に苦心する。

午後 入試委員会／学校の経営に関する討^{〔議〕}ギを行ふ。

119

2月11日 水

レコードコンサート及び座談会／中村〔二期生の中村姓は、中村久子・中村祐の2名〕さんの提案にて、レコードコンサートに併せて、「人文学園を語る」座談会を行ったが、早朝よりの降雪の為か、僅かの出席者しかなかった。みんな期待した催しだったが、一寸気拔けの感あり。結局は流会の様な形になり、中村さん始め、努力された方々に申し訳ない感がした。

120

13th Feb. (S)

1. 自然科学／2. 国語／午後 ドイツ文学史／政治学／会計学

14th Feb. (S)

15th Feb. (M)

1. 一般教養 新村〔猛〕先生の Langevin¹⁸⁾についてのおはなし。月曜日の一時間目からおくられて来るのは遺憾なことである。／先生のおはなしを聞いてゐるときは辛気臭くっていやな感じを与えられるが後になってよく考へてみると非常に感銘をうけるのである。／2. 社会学 重松〔俊明〕先生の「開かれたる社会(類個的な社会)における人間関係」について…／資本家とプロレタリアートの関係と主人と奴隷いとの関係の両者の相違について／3. 支那語 フランス語

121

○ 16th Feb. (T)

1. 経済学 青山〔秀夫〕先生／2. 論理学 久野〔収〕先生／経験的論理学はゼスチャーをま^{〔表〕}ぜて反省的思性5段階を講議される。中々愉快だ。／午後より合同入試委員会行はれる。

○ 17th Feb. (W)

1. 西洋史 アメリカにおける American Revolution / 本国との闘争 独立宣言にみられる思想 / 2. 政治思想史 about Humanism ドイツ観念論 Dewey

○ 18th Feb. (Th)

1. 数学 吉田〔九洲穂〕(初) 田中〔益造〕先生(上) / 2. 法律学(休講) 新村〔猛〕先生のおはなし

○ 19th Feb. (Fr)

1. 東洋史 北村〔敬直〕先生 / 周代 殷代における思想問題 / 孔子について / 2. 日本史 藤谷〔俊雄〕先生 / 家族及び奴隷制度 / 社研 家族 私有財産及び国家の起原 / 講師会議傍聴 / 久野〔収〕 新村〔猛〕 佐々木〔時雄〕 北村〔敬直〕 藤谷〔俊敏雄〕 各講師をかこんで

○ 20th Feb. (Sa)

自然科学, 国語休講 / 代講 新村〔猛〕先生のおはなし / 学問の為の学問, 真理をつかむことは人生を豊かにする

122

代講 久野〔収〕先生の論理学

所感(カンガエ) / 誰かゞやってくれるだらう, 何とか運営して行けるだらう, 二年生にまかせてをかう。さういった観念論的な領域を一年の諸君が脱しなければいくら浦西〔昭二〕君が一年の多数の意志の反映云々を云ったってだめだ。 / 一体こんなに一年が墮落したのは何故であらう。授業内容がおもしろくない, 経済的に余裕がない, 学園そのものがいやだなどと云ってもやはり勉強意欲にもえてゐる或幾人かのものはやって行ってるではないか。学問以前の問題である。学校へ出てこいとなぜ云ってやらないんだ。皆無責任だ無責任に我々委員等を選んだんだ。馬鹿野郎! 入試委員会でも合同委員会でもほんのうわすべりばかりに touch してちっとも本質的には活動してゐない。 / 羽仁〔五郎〕先生に申しわけないぞ。来ない人達の中にはほんとに経済的に困ってる人もあるだらうがそんな人は僅少だ。後はアジラレていやになったのかサボタージュがつもりつもって来るのかおくうになったのか。とにかくこの学校の理想をまだはっきり認識してゐない。学校へ来てゐるものの中でも片輪者はゐる。しかし彼らもすぐによくなるだらう。こんな理想的な学校がいやになるならば闇屋になれ。食ふにはこまらないぞ。だけど人間性に内在する世界観がなくなってしまうぞ。 / 政治学の先生は中々いいことをおっしゃった。党員が会議になれないならなれるだけ何度も会議を開くのだそうだ。

そして其の意識をもりたて、行くのだ。眼目がなんであるかを掴まるや、皆なで立派ないい学校にしてあの時はつらかったなアと云ってみたい気がする。

123

23th Feb (Mon) F and S

授業 1. 一般教養 恋愛に就いて／2. 社会学 並位関係／午後 ドイツ語・支那語・エスペラント語／昼食時間／一年生の座談会／(司会者 浦西〔昭二〕氏)

出席低下の原因に就いて山崎〔利一〕・宮嶋〔八蔵〕・正木〔史郎〕其の他の諸氏の意見が活潑に出された。委員側として斯様な座談会を頻繁に行ひ度い意向。

※今日新村〔猛〕先生が恋愛に就いてお話をされたが一寸感想を述べて見よう。何時の時代でも青年にとって恋愛と云ふ事に就いては関心が高いもので有るが、最近此れに就いて真面目に考へてゐる人が少いのでは有るまいか。新しい時代に進む青年が単なる好奇心や遊び事の様に軽薄な考へで居ては社会的道德的にも悪い影響を及ぼす事になりはしないだらうか？恋愛とは相手を尊敬し、其の事の故にお互の人格なり、精神生活なりが向上されて行く。此の様な恋愛が本当に立派な恋愛では有るまいか。所がこんな立派な恋愛と云ふものは仲々出来るものでは無いと云ふ事になる。

プラトニック・ラブ ぞっとするわよ〔下線点線箇所は薄字〕。

124

24th Feb (Tue) F

授業 1. 課外講演 (坂西志保女史)／2. 一・二年生 合同座談会／3. 英語 中級／4. 初級坂西女史講演要處／いたずらに亜米利加の Democracy を盲目的に模倣する事で無く、自分が一所県^(縣)命に勉強し努力して生きて行く事に依て、社会を如何に変化させ進歩向上させて行くか真の Democracy とは此處に有る。／“私は伝統と云ふものに対しては一応反撥致します。”／劈頭から力強く話しを進めて行かれる女史の何んと生き生きとした若い容姿であらう。

一・二年生座談会 学園の問題／司会者 杉本〔喜代巳か〕氏 報告／新入生募集 可、否、及現状に就いて、活潑な討議が有り、結局、生徒の欠席は何處に原因が有るのか、先づ周到なる記名調査を施行する事に決定。／火曜日と云ふ日で有った為か、多数の出席者で非常に活気が有ったのは喜ばしい事で有った。

125

25th Feb (Wed) F

授業 1. 西洋史 American Revolution / Landslide toward democracy / 2. 政治思想史

Fichte 国家論

※学園の危機と云はれる度に其れと共に授業内容の不服が出る。具体的に何處が不服なのか聞いた事が無いが勉学とは学校で聞いた知識を基楚^{〔義〕}にして自分で積極的に色んな本を読んで良く研究し掘り下げて行き分らない所が有れば先生に質問する。此れに依て本当の勉強が出来実力がつくので有って唯単に学校の講議^{〔義〕}だけを勉強の全部の様に考へるから不服が出るのでは無かろうか。／“叩けよ、然らば扉は開かれん”とにかく勉強の事だけで無く何事にも此の“叩く”と言ふ積極性が欲しいものだ。

126

26th Feb (Thu) F

授業／1. 数学 (吉田〔九洲穂〕初) 田中〔益造〕先生 (上)／2. 法律学 新憲法

昼食時間 一・二年合同生徒委員会／1. 三学期 3 月 24 日迄／学園祭 3 月 23 日開催／演劇をする者は生徒全部の協力を求め活潑に練習を行ふ。各委員も責任を持って積極的に応援する事。※男女共学と云はれるこの学園の女の人は一体幾人で有ろう。あまり少いので何時も淋しくて仕方が無い。何んだか居候の様な感じがする。女には何かと家庭的な用事が多くてつい学校へ出て来る時間が無い。男の人と違って其の点誠に努力が必要で有る。昨日も永井〔道雄〕先生が現在の日本女性の家庭生活が大変利那主義的で有る事を指摘されたが同感で有る。併し、其の数多い仕事をもっと努力して計画的に整理すれば何んとか勉強する時間位は出て来る。此の努力が即ち、新村〔猛〕先生の云はれる“思考の人として行動し 行動の人として思考する”事の最も身近かな努力ではなからうか。

127

2 月 27 日 (金)

1. 東洋史—周代思想史／2. 日本史—土一揆

・日本にもルネッサンス^{〔ママ〕}えの萌芽は全国的に現れている。その萌芽は無ザンにも萌芽の内に絶対主^{〔義〕}的な封建権力に踏みにじられてしまったけれど一。／20 世紀も半ば過ぎた今日になって日本の民主革命は始められんとしている。自分はこれら近代的な若芽を摘み取ったものに対して大きなイカリを感じると共に人文学園の価値を見出している。／(F)

2 月 28 日 (土)

1. ／2. 国語 古今和歌集 恋の歌／午後 文学史／政治 団体主権論

128

3月1日(月)

1. 教養／2. 社会／午後 エスペラント, ドイツ語

・社会学—それは一体何を研究しようとする学問なのか? 重松〔俊明〕先生はインターナショナル的な社会主義は考えられないと云はれる。企業の国有とはその民族がやるからださうだ。もちろんそれは正しい。しかし現実にはソビエト連邦と云う国が存在している。各民族の独立の上にたったインターナショナル。観念弁証法よりも唯物弁証法の方が正しいと云うことはすでに現実が証明している。／(F)

3月2日(火)

1. 論理 1, 2年合併

・輿論調査／午後 英語

・合同委員会／34名の出席者があったが通知を出してもこれだけしか出て来ないとは考えなければならない。熱意のないものを切り捨て、精鋭主義^{〔義〕}でゆくか? 大きく包容して行くか? もちろん後者の方が正しいに違いない—がその具体的な方法は? となると何も考えられない。／今日の調査の結果が少しでもそれに役立てばと思っている。 F

129

3月3日(水)

1. 西洋史 フランス革命／2. 政治思想 ヘーゲルの国家論

・ドイツ観念論の最高峯としてのヘーゲル哲学をたった1時間で終るのは何か残念な気がする。／弁証法とは“正が反になり反が又正になることだ”／幾ら時間が少いとは云えこれではあまり可哀そうだ。／“アフヘーベンと云う便利な言葉で云々”／まことに永井〔道雄〕先生は講議^{〔義〕}を簡単な言葉でアフヘーベンされる。“正・反・合”“否定の否定”“対立物の統一”弁証法の説明を今までの解説書ではいとも便利な言葉で片付けている。／だから観念論的マルキストの何と多い事よ。／三木清¹⁹⁾の様に唯物論的観念論の方がそんな者よりもどれだけ偉大である事か。／羽仁五郎氏は“評論”1月号で痛^{〔烈〕}レツに批判している。／吾々も身についた世界観、それで死ぬことの出来る哲学を持とう。／(F)

・合同委員会／・調査の未提出者に対する対策／・調査のデーター作成方法

130

3月4日(木) 晴

1. 数学／2. 法律休講 佐々木〔時雄〕先生代講／3. 英

・出席状態をどうして改善するか？／委員会のみが真剣であってもどうもならない問題だ。又一時のアザテーションで解決のつくものでもない。／何かしらもっと根本的なものがあるのではなからうか？輿論調査の結果に期待する。 F

3月5日(金)

1. 東洋史／2. 日本史 起請文

・委員会／・出席制の可否／この出席の悪い状態をいかに改革すべきかで委員会は2つの流れに割れた。／1つは処罪を有する出席をとることによって出席が増加すると云う側。／1つは出席制を採用しても効果がないし又出席制をとことは学園の主旨に反すると云う強硬派。／意見が一致せず遂に生徒大会には委員会としては2つの提案を行うことになった。 F

131

3月6日(土)

1. 自然科学 休講／2. 国語／午後 委員会

出欠制の可否両派別々に委員会を開く。
〔賛成〕
サンセイ側は提案者 吉田〔九洲穂〕, 天野〔一郎〕
反対側は 山田〔宏二〕, 杉本
議長 余〔廷壽〕 副議長 藤本〔文彦〕

3月8日(月)

1. 教養／2. 社会 佐々木〔時雄〕代講 国際婦人デー／午後 委員会

昨日も山田〔宏二〕氏宅でデーターの整理と合はせて明日の生徒大会の打合せをやる。／出席制反対, 〔賛成〕サンセイ, 両派共別々と委員会を開き最後の戦略の立案に余念がない。

3月9日(火)

1. 経済／2. 生徒大会／(別紙参照)

133

3月10日(水)

1. 西洋史 合併 35名／2. 政治 岡田〔良夫〕 12名

生徒大会のあの緊張した空気が一時のものでない事を希うだけだ。

3月11日(木)

1. 数学 7名／2. 法律 32名／午後 フランス語／英語

2年生は出席状態は良好の様だが1年生は、まだ心期一転と云うところが見られない様な気がする。

134

3月12日(金)

1. 東洋史 25名／2. 日本史 村の歴史・工場の歴史 22名

歴史評論の村の歴史、工場の歴史の講話。／たくましく生長してゆく労働者、農民の姿が目に見えてくる。／人文学園も早く学園の歴史を書ける様にしたいものだ。／F

3月13日(土)

1. 国語 14名／2. 自科 休講／家計補助的賃金について 佐々木〔時雄〕先生 12名

・日本農村の特殊性とそれに原因する女工の植民地以下の低賃金との関係から長野県の紡績工場のたくみな搾取体系等々。／佐々木先生の講義はいつも面白く聞ける。

135

3月15日(月)

1. 教養 学園の危機について／午後 英語

・合同委員会／(カンガエ)／学園の現在の危機をもたらししたものとは何か？

新村〔猛〕先生はジュンジュンと話される。／専門的なグループに出席する前に先ず学課に出席せよ。／青共・細胞の者が校外運動に重点を置いてゐるが先ず職場である学校の危機打開に主力を注ぐべきだ。以上の二点が学園の危機をもたらしものだと云はれる。第1の原因はもっともな事であり必ずしなければならないと思うが、第2の点に関しては何かなっとくの行かないものがある。もちろん細胞員が皆の先頭に立って危機打開にマイシンすべきではあるがだからと云って校外活動を放^(郷)てきしてよいであらうか？又現在の人文学園細胞が校外に於てそんなに活潑に動いているだらうか？／客観状況が困難になればなる程不利になればなる程共産党員はより活潑により公然と闘はねばならないと思う。

・合同委員会では入試をいかにすべきかが論議された。／自分としては未だどちらが正しいかと云うことは理論的にはわからない。しかし感じとしてこゝで入試を止める事は吾々の敗北であると云うことだけが感じられる。／それを理論^(づ)づける事は未だ出来ないけれども或る程度までは人間の感覚、第6感と云うものに信を置いても好いのではないだらうか？／F

136

3月16日(火)

1. 経済 24名／2. 論理 27名／英語

・合同委員会／入試対策／入試をやるためには現状打開をやらなくてはならない。／いかにすべきか？出席制が又再燃し出した。／しかし最高の決議機関としての生徒大会で決定した事をいかに積極的に実行すべきかを定めるのが委員会の態度ではないだろうか？自分の方は否決されたから云々と云う言葉は反民主的ではないだろうか？／なる程出席制をとった方が正しかったかも知れない。／しかし大会で否決された以上それは決定に従い委員であるならば進んで協力しなければならない。／ブルジョアデモクラシーの限界を認識すると共に如何にそれを有効に効果的にもってゆくかを知らねばならない。入試を中止する事や遅らすことは敗北を意味する。僕の考えは変らない。／F

137

3月17日(水)

1. 西洋史 フランス革命 17名／2. 政治思想 カント ヘーゲル フィフテ 18名

・生徒大会の決議も無駄になる気配がある。／私達はワクを作らなければダメなのだろうか？

3月18日(木)

1. 数学 計算図表 12名／2. 特別講義 25名／滝川幸辰²⁰⁾氏 京大事件について

・京大事件の裏面史とも云うべきか未だ発表されない色々のエピソードを聞く。／いかに当時の政府、ファシズムの弾圧がはげしかったか又官僚大学の主脳部はいかに権謀術策を弄して進歩的教授の追出しをやったか。／そして又現在の大学の教授のいかにインチキなものであるか。自分達はよく考えなければいけない。

138

3月19日(金)

1. 東洋史 儒学と諸子百家 出席 18名／2. 日本史 近世 出席 17名

・とうとう出席状態も余り改善されないうちに休みが近いた。／単なるアデテーションでは駄目だし、生徒の集るのを待っているのも予測の出来ぬ事だし結局は休み中に家庭訪問か個人的に通信するより他に打つ手はないだろう。

3月20日(土) 雨

生徒大会

明日から春休みに入るのだが入試も未だ確定せず其れにからまって危機打開の具体策等々重要な問題が山積されているので、休暇中の小委員会を設置する事に決定。小委員6名を選出。
2年小委員／藤本文彦，中村祐，中村やす子，金子〔金水嘉昭〕，大島〔秀一〕，余廷壽

139

4月12日(日)

新村〔猛〕先生 新学期について／生徒大会

1. 小委員会の報告

・新学年を1年制にした事についての新村先生の説明と小委員会の報告。／僕にはまだ1年制の募集，2年制にすると云うのが積極的な意見の様には思えない。

4月19日(月)

教養 京大殺人事件について／数学 三角法

・新聞を賑がした京大生の殺人事件についての討論会。僕にはどうしてもアブノルマルな人間としてしか感じられないのだけれど。／自分としてはあの様な気持に少しもなれないし又同情も出来ない。／主体性を確立するために云々と云ったらしいが近代文学の連中も罪な事を云い出したものだ。

140

4月20日(火)

哲学 } を休講
経済 }

佐々木〔時雄〕先生代講／男性と女性について

・市電ストのためかどうか知らないけれども出席者が少い。／久野〔収〕先生の宅に盗難があつて欠席されるそうだ。／経済も休講。生徒の殊に3年生のはりきり方にくらべて少々^(憤慨)フンガイに値する。／F

4月21日(水)

1. 日本史 京大生殺人事件について／2. 法律／

午後 講師会議

・藤谷〔俊雄〕先生は京大生の殺人を指して実存主義者の末路だと云はれる。たしかにそうだ。観念的な主体性の確立がいかにインチキなものであるか、これで明らかになったと思う。主体性と云うものはやはり社会的な実践を通じてのみ確立されるものである／F／○講師会議の

デタラメさ。第1に時間の不励行、第2に座談会の様な運営。あれでは形だけ民主的であっても実質は新村〔猛〕、久野〔収〕、青山〔秀夫〕の三教授によって決定している様だ。経営協議会の設置へ！

141

4月22日(木)

西洋史／東洋史／生徒会議がありました。

4月23日(金)

出席者少数のため新委員の選出が出きぬため旧委員と新委員との橋渡として暫定的委員を選出する事に。以〔下〕の人が暫定委員として選挙された。／^(member)menber 松田〔耕三〕 柳本〔義次〕 中村やす子 金子〔金水嘉昭か〕 早川〔喜久〕 天野〔一郎〕 (長)／調査会計委員は期間が短いため委員会が兼任する事となった。／委員会 決定事項 新試験委員の設定 旧二年生試験委員はその大多数が出席せず試験対策に関する限りは三年生委員が此を牛耳り二年生の輿論は殆ど無視 (これは私達に積極性が欠けてゐる故であるが) されてゐる有様故新委員を選出 (現委員三名 推薦三名)。私たちの主張を通す事とした。

〔以下、142～200 まで本文白紙〕

注

- 1) 「大河内一男 (おこうちかずお, 1905-1984)。1945 年から東京帝国大学教授, 1963 年から東京大学学長。著作に「独逸 (ドイツ) 社会政策思想史」「社会政策の経済理論」など」(『日本人名大辞典』)。
- 2) 「朝山新一 (あさやましんいち, 1908-1971) 明治 41 年 1 月 18 日生まれ。戦後大阪市立大教授をつとめ, 昭和 24 年刊行の「現代学生の性行動」で「日本のキンゼー」とよばれる。47 年日本性教育協会の創立に参加。昭和 53 年 11 月 7 日死去。70 歳。京都出身。京都帝大卒。著作はほかに「性教育」「性の現象」など」(『日本人名大辞典』)。特別講演の内容は, 朝山新一『性の現象』(臼井書房, 1948 年)に関連するものか。
- 3) 「久米正雄 (くめまさお, 1891-1952) 明治 24 年 11 月 23 日生まれ。大正 3 年第 3 次「新思潮」に戯曲「牛乳屋の兄弟」を発表。夏目漱石に師事し, 漱石の長女筆子に失恋。その経緯を 7 年の「蜚草」, 11 年の「破船」などの長編小説にえがき, 流行作家となった。俳人としても知られる。昭和 27 年 3 月 1 日死去。60 歳。長野県出身。東京帝大卒。俳号は三汀」(『日本人名大辞典』)。
- 4) 松岡譲 (まつおかゆずる, 1891-1969) 夏目漱石の門人, 後に漱石長女・筆子と結婚 (久米と離反), 著作に『漱石先生』(岩波書店, 1934 年), 敦煌物語 (日下部書店 1943 年) など (関口

安義『評伝 松岡譲』小沢書店, 1991 年を参照)。

- 5) 「徳田球一(とくだきゅういち, 1894-1953) 明治 27 年 9 月 12 日生まれ。はじめ弁護士。大正 11 年堺利彦, 山川均らと共産党を結成し中央委員。昭和 3 年三・一五事件で検挙され, 20 年出獄。書記長として共産党の再建につとめ, 21 年衆議院議員(当選 3 回)となる。25 年マッカーサー指令で追放され, 28 年 10 月 14 日亡命先の北京で客死。59 歳。沖縄県出身。日大卒。共著に「獄中十八年」(『日本人名大辞典』)。
- 6) 「古賀峯一(こがみねいち, 1885-1944) 明治 18 年 4 月 25 日生まれ。海軍大学校教官などをつとめ, 青葉, 伊勢の艦長を歴任。太平洋戦争中, 支那方面艦隊司令長官, 横須賀鎮守府司令長官などをへて, 昭和 18 年戦死した山本五十六(いそろく)の後任として連合艦隊司令長官に就任。昭和 19 年 3 月 31 日移動中に飛行機が墜落, 殉職した。60 歳。没後に元帥。佐賀県出身。海軍大学校卒(『日本人名大辞典』)。
- 7) 海軍兵学校教育理念を指す(中条是竜『江田島精神』講談社, 1943 年)。
- 8) 「鹿地亘(かじわたる, 1903-1982) 明治 36 年 5 月 1 日生まれ。東京帝大在学中にプロレタリア文学運動に参加し, 昭和 4 年日本プロレタリア作家同盟を結成。11 年上海へわたり, 日中戦争中, 重慶で日本人民反戦同盟を組織。26 年米軍機関による監禁事件にあった(鹿地事件)。昭和 57 年 7 月 26 日死去。79 歳。大分県出身。本名は瀬口貢。著作に「労働日記と靴」「自伝的な文学史」など(『日本人名大事典』)。
- 9) 西口克己(にしぐちかつみ, 1913-1986)「京都市伏見区中書島遊郭の長男として生れる。三高から東大文学部を経て卒業後, 日本労働科学研究所員として弾圧下の政治・労働問題を経験し, 終戦をむかえる。戦後共産党から京都市市会議員, 「主な作品に「文殊九郎」「山宣」「新幹線」「祇園祭」(東邦出版社刊)がある」(西口克己『廓』(東邦出版, 1969 年(初版は 1956 年))の奥付参照)。
- 10) 「羽仁五郎(はにごろう, 1901-1983) 群馬県生まれ, 東京帝大卒。1928 年から日本大学教授, 三木清らとともにプロレタリア科学研究所をつくり, 反ファシズムの姿勢を貫く。戦後, 参議院議員となり国立国会図書館の創設などに尽くす。著作に「明治維新史研究」など(『日本人名大辞典』)。
- 11) 「Burbank, Luther (1849.3.7～1926.10.11) アメリカの園芸改良家。作物改良事業を始め(1868), カリフォルニアのサンタローザに移り(75), 世界各地から多くの品種を取り寄せ, 品種の有する唯一つの優良な形質をとり出し, 交配によって多数の種類の果樹, 農作物の改良に成功, 特にバラ科の果樹の育種に力を注いだ。C.R. デーウィンを信奉し「よりよい植物は選択による進化によって作られる」としている(『岩波 世界人名大辞典』)。
- 12) 「近藤忠義(こんどうただよし, 1901-1976) 兵庫県出身, 東京帝国大学卒業。国文学者。唯物史観の立場から近世文学を研究。1934 年から法政大学教授, 1966 年から和光大学教授。日本文学協会初代委員長(『日本人名大辞典』)。
- 13) 「河上肇(かわかみはじめ, 1879-1946) 山口県出身, 東京帝国大学卒業。1909 年から京都帝国大学教授。1926 年「京都学連事件」で自宅搜索を受ける。1933 年に逮捕。著作に「貧乏物語」など(『新潮日本人名辞典』)。
- 14) 「宮本顕治(みやもとけんじ, 1908-2007) 山口県出身, 東京帝国大学卒業。1931 年日本共産党に入党。非転向をつらぬき, 戦後は国際派の指導者として活動。1957 年に党書記長, 1970 年委員長。1977 年に参議院議員(『新潮日本人名辞典』)。
- 15) 「宮川実(みやかわみのる, 1896-1985) 明治 29 年 2 月 19 日生まれ。河上肇に師事し, マルク

ス主義経済学を研究。和歌山高商教授をへて、昭和14年立大教授となる。17年治安維持法違反で入獄し、戦後立大に復職。労働者教育協会会長。昭和60年10月21日死去。89歳。山口県出身。東京帝大卒。著作に「資本論講義」など（『日本人名大事典』）。

- 16) 「堀江英一（ほりええいいち、1913-1981）。徳島県出身、京都帝国大学卒業。1947年から京都大学教授。著作に「明治維新の社会構造」など」（『日本人名大辞典』）。
- 17) 「清水三男（しみずみつお、1909-1947）明治42年12月生まれ。和歌山商業でおしえるかたわら、荘園研究をつづける。昭和13年雑誌「世界文化」グループの治安維持法違反事件に連座。のち「日本中世の村落」「上代の土地関係」を発表。18年召集され、千島で終戦をむかえる。シベリア抑留中の昭和22年1月27日病没。39歳。京都出身。京都帝大卒」（『日本人名大事典』）。
- 18) 「Paul Langevin（1872.1.23～1946.12.19）フランスの物理学者。コレージュ・ド・フランスの教授（1909）、パリ大学物理化学研究所長（1925-）。諸物質の磁性を研究し、特に W.E. ヴェーバーの分子電流の考察に基づき、常磁性体の帯磁の際の磁気能率の温度変化に関する〈キュリーの法則〉を統計力学を用い立証した（1905）。他にブラウン運動の理論（ランジュヴェン方程式）、二次X線、相対理論の研究がある。第二次大戦中はナチスに捕らわれたが、スイスに逃れ反ナチス抵抗運動に参加した」（『岩波世界人名大辞典』）。
- 19) 「三木清（みききよし、1897-1945）兵庫県出身、京都帝国大学出身。西田幾多郎に師事。1927年から法政大学教授。1930年に治安維持法違反で検挙。1945年3月に再検挙され獄死。著作に「歴史哲学」など」（『新潮日本人名辞典』）。
- 20) 「滝川幸辰（たきがわゆきとき、1891-1962）岡山県生まれ、京都帝国大学卒業。1918年から京都帝国大学助教授、1924年教授。著作「刑法読本」が問題化され、1933年鳩山一郎文相によって停学処分。これに講義法学部教授会が抗議（滝川事件）。戦後は京都大学に復職、総長を歴任（『新潮日本人名辞典』）。